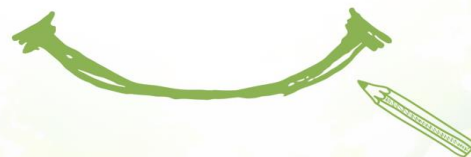


出前講座

あなたの住んでいる地域の研究に データを活用してみよう！

データで信州の
未来を創ろう

The logo for RESAS, where each letter is composed of colorful, faceted geometric shapes. R is red, E is purple, S is orange, A is yellow, and S is blue.

はじめに : 講座を担当する私たちのご紹介



地域の課題解決・成長に寄与する 地域のための総合政策シンクタンク

事業内容:

- 行政計画策定
- 社会調査／市場調査
- 研修企画、実施
- 市民会議等のファシリテーション
- プロモーション
- 各種コンサルティング 等

業務分野:

- 産業（農業・観光・サービス業・工業振興等）、地域ブランド
- 医療・福祉
- 地域公共交通
- 教育・文化振興
- 協働制度構築、ファンドレイジング等

本日の講座の内容

- | | |
|--------------------------|-----|
| 1. 講座の目的と意義 | |
| 2. データの活用のポイント | |
| 3. RESASの紹介 | 50分 |
| 4. RESASの基本操作 | |
| 5. RESASを使ってみよう（地域の経済分析） | 50分 |

この講座で
学ぶこと

データを活用しながら
「説得力」をもった
地域の問題・特徴の示し方



1. 講座の目的と意義

地域（まち）づくりの提案に「説得力」が必要な理由 なぜ、地域(まち)づくりの提案には、「説得力」が必要なのでしょうか？

それは、

「地域(まち)を変えるには、



多くの人々の協力が必要になる」から。

しかし、

・地域(まち)は広く、複雑

→問題・特徴を正確に捉えることが難しい

・地域(まち)には様々な年齢、考え、立場の人々が暮らしている

→誰かが問題・特徴だと思ふことが“共有できる”とは限らない

騒がしくなく
なって嬉しい



まちの活気が
ないなあ...



立ち退いて
くれない人が
いて、再開発
が進まない...

➡ 地域の問題や特徴を“みんな”と共有するには「説得力」が必要

住んでいる地域のこと知っているかな？

クイズ1：4市村をあわせた総人口は？

※4市村とは（飯山市、野沢温泉村、木島平村、栄村）

※数値は2015年の総務省統計局「国勢調査」です。

- ① 11,528人 ② 31,528人 ③ 51,528人

クイズ2：4市村の人口は今後どのようなようになっていく？

- ① 増えていく ② 変わらない ③ 減っていく


クイズ3：4市村の人口は2015年→2040年にはどのくらい減っていくと予想されているかな？

※数値は2015年の総務省統計局「国勢調査」です。

※推計は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

- ① 22%減 ② 32%減 ③ 42%減

4市村の総人口推計

4市村の 2015年 2040年
総人口 31,528 人  21,414 人

32%減
10,114人減

飯山市総人口

2015年
21,438人



2040年
15,004 人

30%減

野沢温泉村総人口

2015年
3,479 人



2040年
2,129 人

39%減

木島平村総人口

2015年
4,658 人



2040年
3,212 人

31%減

栄村総人口

2015年
1,953 人



2040年
1,069 人

45 %減

本講座で学ぶこと

データを活用して



「説得力」のある
問題・特徴の提示

人々の
共感・協力・行動を引き出す
↓
「困りごとの解決」
「魅力づくり」

地域分析に活用できる主なデータ

数値(定量的な情報)

アンケート

統計



言葉・文章(定性的な情報)

文献

ヒアリング

観察・体験

今回はデータのうち「統計」に注目し「RESAS」の活用も含めて学ぶ

2. 統計データの活用のポイント

■「データを活用」の考え方

問題解決や新しい価値・魅力の創造のためにデータを活用すること。

「データ活用」のためには、まずデータを「収集」し、意味を読み解くため「分析」し、人に伝えるために「表現」することが必要となる。



統計とは？ー統べて 計る

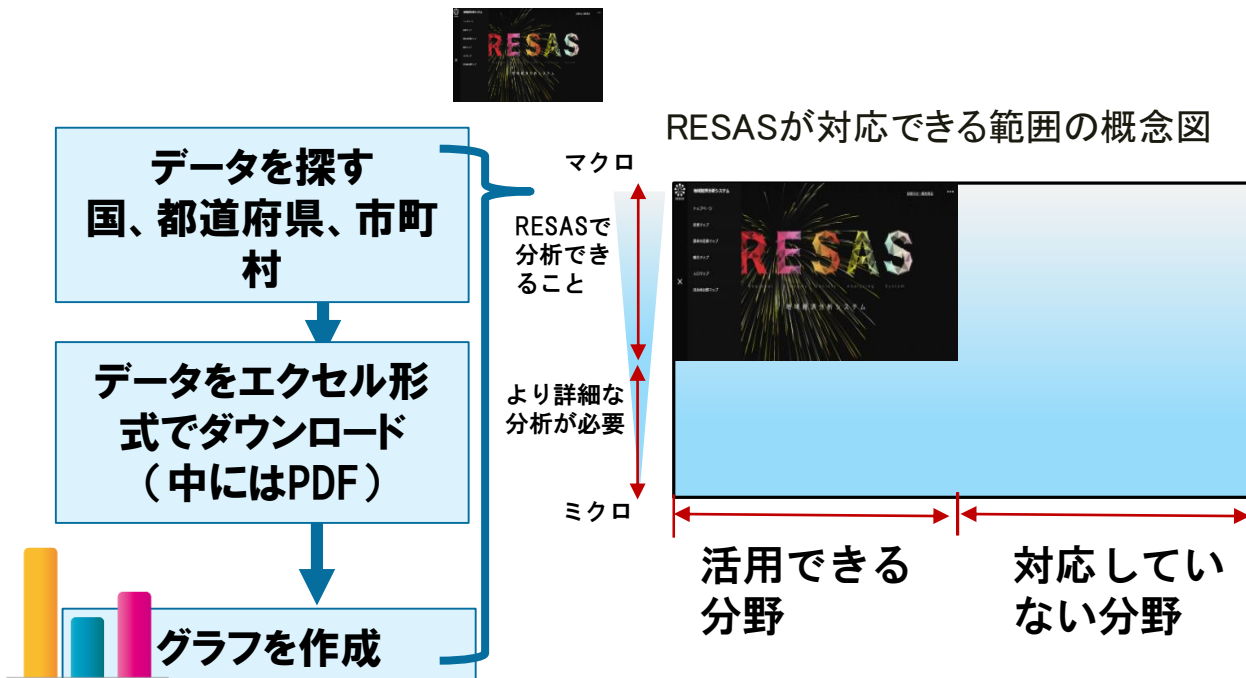
- 統計とは、気温の変化や天気などの自然現象のしくみや、地域や社会の集団の特徴などを知るために、調査したり、実験したりして、データを集めて、それを整理し、集計したもの。このようにしてまとめた表やグラフ、集計した数値を「統計」という

出典：東京都総務局統計部HP内コンテンツ「まなぼう統計」を編集

- 統計情報は、国、県、市町村、その他、団体や企業等が公開・提供しているものがある。国、県、市町村が提供している統計情報は、数値をExcelやPDF形式で公開している。データをダウンロードし、加工し、グラフの作成を行う。
- この後、説明をするRESASは、人口、産業などの分野の一部データのグラフ化までを自動的に行ってくれる便利なツール。

国・県・市町村の代表的な統計情報

	代表的な統計情報
国	総務省：国勢調査 経産省：経済センサス 農水省：農林センサス
県	毎月人口異動調査 県民経済計算
市町村	住民基本台帳



例：国勢調査のデータを収集する

e-Stat 政府統計の総合窓口

ホーム お問い合わせ ヘルプ English 文字拡大・読み上げ

統計データを探す 地図や図表で見る 調査項目を調べる 統計サイト検索・リンク集 ログイン

MS Pゴシック 11 A A 折り返して全体を表示する 標準 条件付き書式 テーブルとしてセルの書式設定 スタイル

PDF DB の

クリックすると数値データをダウンロードできる

作成機関

2016年6月29日公表 DB

※大項目	地域コード	地域識別コード	総数(年齢0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳			
101	0 a	全国	1.27E+08	967100	1000000	1039000	1056900	1057400	1041900	1023100	国市部・郡部	CSV DB
101	1 b	市部	1.16E+08	891000	918400	955800	966900	971900	957100	931000	全国市部・市	CSV DB
101	2 b	郡部	10972200	76100	81500	83200	90000	85400	84900	92000	日本人)	CSV DB
102	0 a	全国	1.24E+08	951400	981100	1024400	1040200	1043600	1028800	1008900	日本人)	CSV DB
102	1 b	市部	1.13E+08	875500	899500	942000	950700	958600	944100	917400	日本人)	CSV DB
102	2 b	郡部	10871500	76000	81500	82400	89500	85000	84700	91600	日本人)	CSV DB
201	0 a	全国	61829200	499300	507900	529300	543100	540600	530400	517400	日本人)	CSV DB
201	1 b	市部	56521200	459500	467700	488200	496900	498600	483900	470100	日本人)	CSV DB
201	2 b	郡部	5308100	39800	40200	41100	46200	41900	46500	47300	日本人)	CSV DB
202	0 a	全国	60301700	491500	499000	522000	535300	533800	523900	510800	日本人)	CSV DB
202	1 b	市部	55039900	451700	458800	481500	489600	492100	477500	463700	日本人)	CSV DB
202	2 b	郡部	5261800	39800	40200	40500	45700	41700	46400	47100	日本人)	CSV DB
301	0 a	全国	65280800	467700	492100	509700	513800	516800	511500	505600	全国, 全国	CSV DB
301	1 b	市部	59616700	431500	450800	467600	470000	473300	473200	460900	全国, 全国	CSV DB
301	2 b	郡部	5664100	36300	41300	42100	43800	43500	38300	44700	全国, 全国	CSV DB
302	0 a	全国	63670700	459900	482100	502400	504900	509900	505000	498100	全国, 全国	CSV DB

労働力状態(8区分), 配偶関係(3区分), 年齢(5歳階級), 男女別15歳以上人口(総数及び雇用者)-全国, 全国市部・郡部

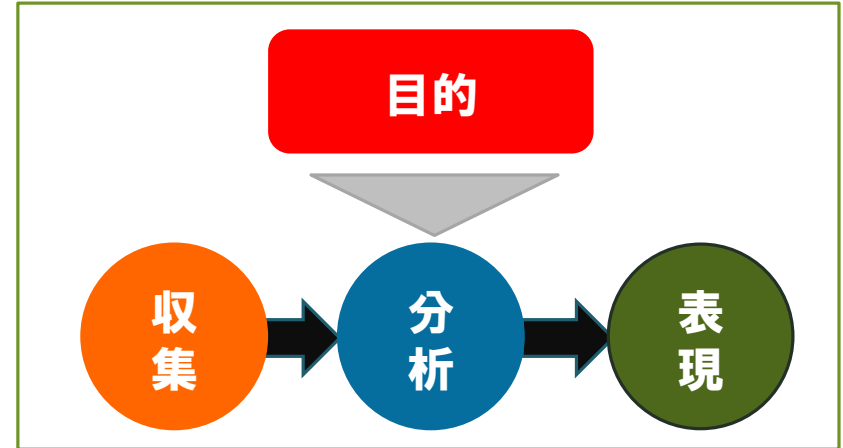
従業上の地位(7区分), 産業(大分類), 年齢(5歳階級), 男女別15歳以上就業者数及び平均年齢(総数及び

統計データの有効活用のためのポイント



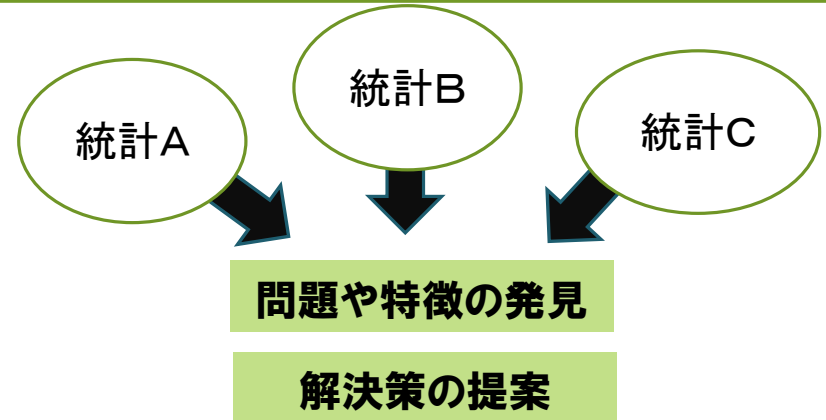
ポイント1: 目的を持って取り組む

- データは、無数にある。明らかにしたいこと（目的）をハッキリと意識しないと、どのようなデータを集め、どのような分析をすべきかは、見えてこない。
- 何のために、データの収集⇒分析⇒表現を行い、何を明らかにするのか、確認するのかを見失わずに取り組むことが必要



ポイント2: 目的に応じ、データを取捨選択し、多角的な視点で考える

- 統計情報、アンケート調査、ヒアリング調査等様々なデータがある。
- 関係する情報を収集し、多角的にみていくことが必要。（データ間で、異なる傾向がでる場合もあります。）



例：調査目的を持って多くのデータを探すイメージ

収集

分析

表現

ポイントは、集めるべき情報を考えながら、該当するデータを探すこと

問題・特徴の発見

観光産業が元気がない。なぜ？何が問題か？

誰が、どこに、どのくらい
来ているのか？

観光客数(国内／海外)

いくら使っているの？

観光消費額

どのくらい滞在しているの？

日帰り／宿泊比率

解決策の検討

もっと旅行者を呼び込むヒントはないの？

どの国の人か、どこに、
どのくらい来ているのか？

国籍別の観光客数

団体旅行、個人旅行？

旅行形態

どんなルートで移動しているの？

立ち寄り地点

統計データの有効活用のためのポイント

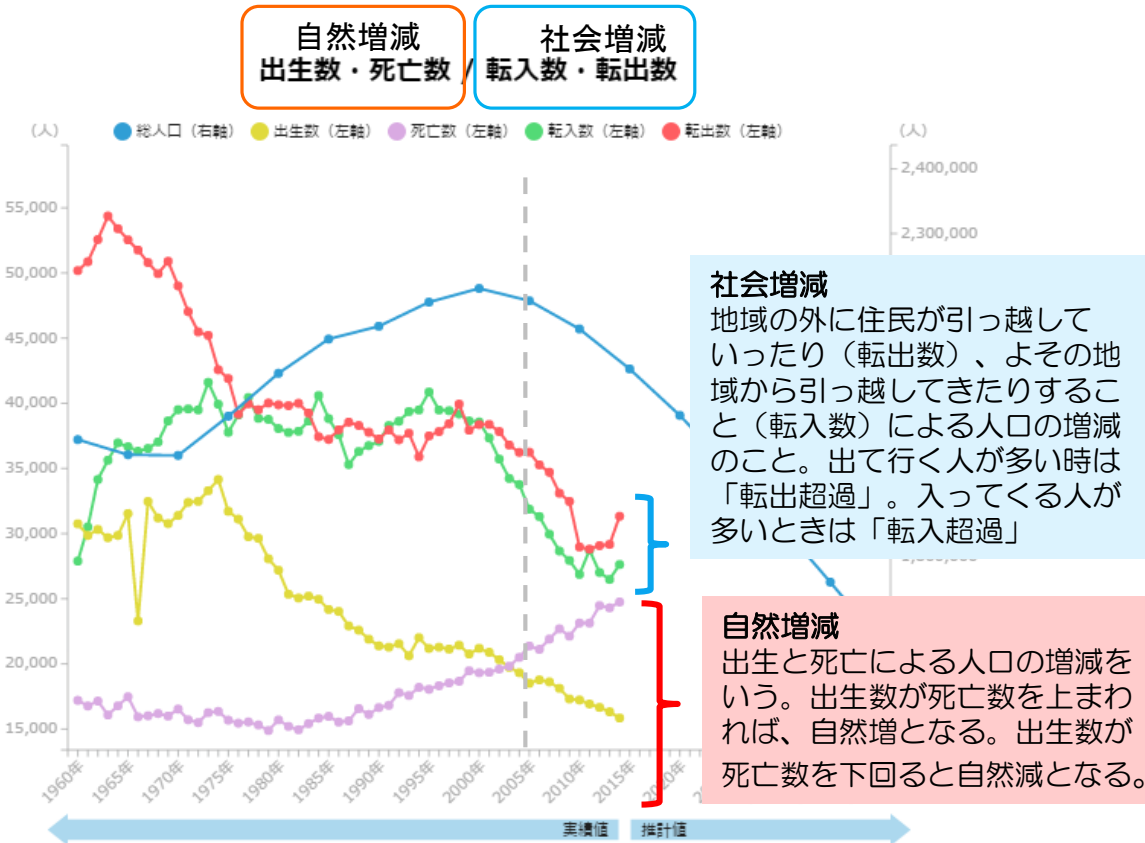
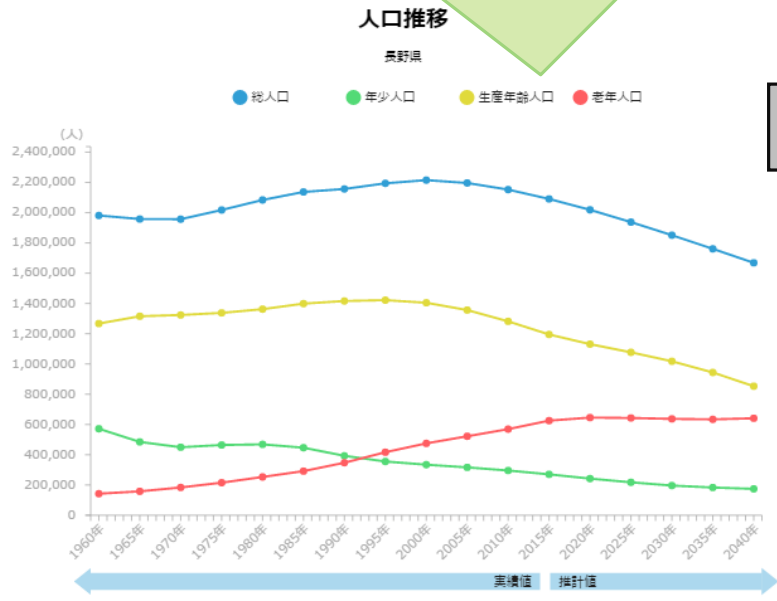


ポイント3: 「全体像」を把握してから、「詳細分析」をする

- 全体像を知らないまま、詳細の分析を進めると強みや弱みを読み間違えたり、状況がわからなくなる。

例：長野県の人口の増減について

長野県の総人口は2000年(2,215,168人)をピークに減少している。
総人口が減り始めた要因は？



社会増減
地域の外に住民が引っ越していったり（転出数）、よその地域から引っ越してきたりすること（転入数）による人口の増減のこと。出て行く人が多い時は「転出超過」。入ってくる人が多いときは「転入超過」

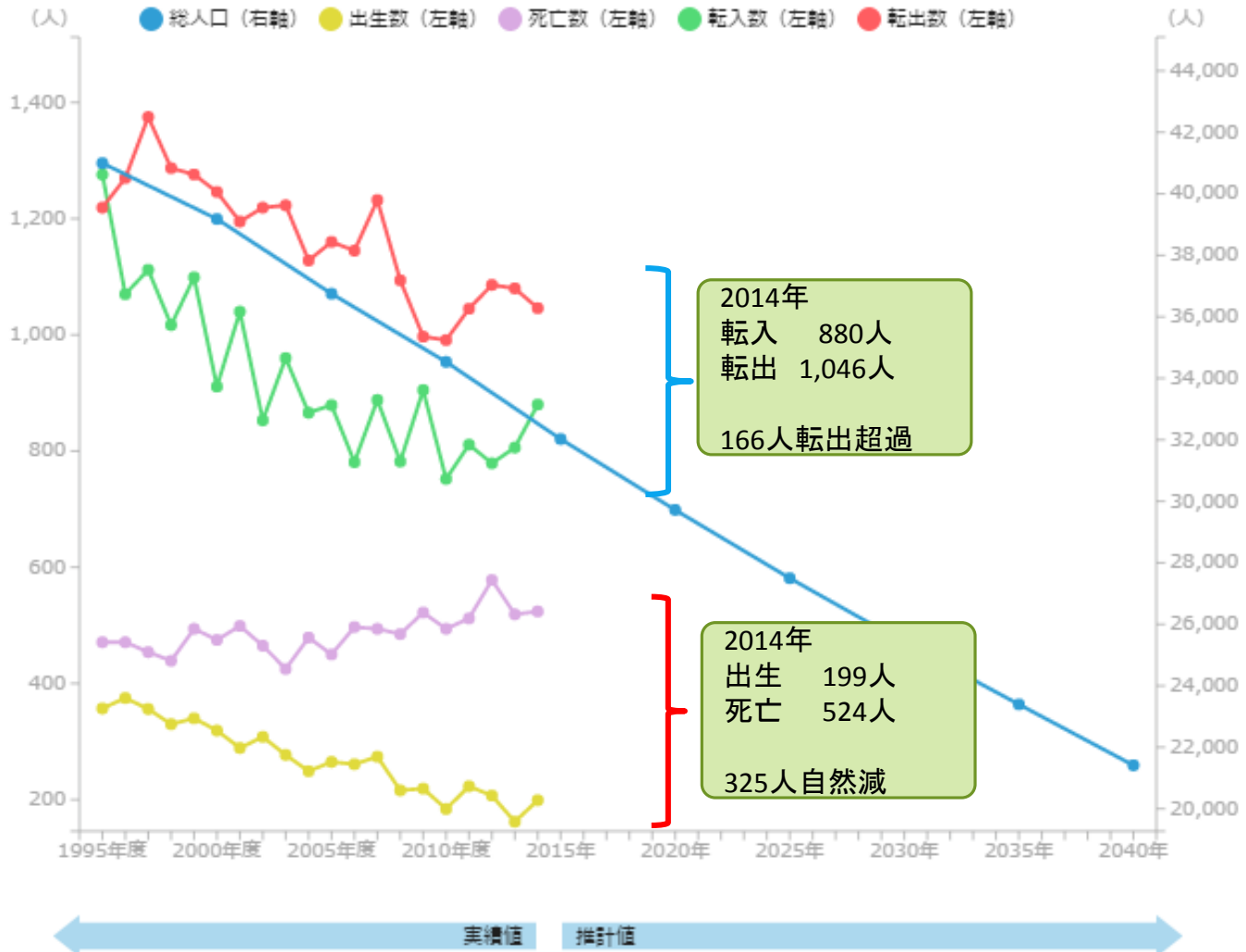
自然増減
出生と死亡による人口の増減をいう。出生数が死亡数を上まわれば、自然増となる。出生数が死亡数を下回ると自然減となる。

【出典】RESAS 人口マップー人口構成、人口増減／総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

長野県の出生数と死亡数をみると、2003年に逆転し、以降、死亡数が上回っている。また、長野県の転入・転出数は拮抗しつつ推移してきたが、2001年から転出数が上回っている。自然増減(出生数-死亡数)、社会増減(転入数-転出数)ともに長野県の人口減少の要因となっている。

4市村の人口増減

出生数・死亡数 / 転入数・転出数



社会増減
 地域の外に住民が引っ越していったり（転出数）、よその地域から引っ越してきたりすること（転入数）による人口の増減のこと。出て行く人が多い時は「転出超過」。入ってくる人が多いときは「転入超過」

自然増減
 出生と死亡による人口の増減をいう。出生数が死亡数を上まわれば、自然増となる。出生数が死亡数を下回ると自然減となる。

統計情報を収集するときの注意点

データを収集するときは「誰が」実施した調査なのか、「いつ」の時点のどの調査なのか、「どんな」調査方法なのか、確認しながら集める必要があります。

必ず、出典を記載する

出典の記載例

出典：総務省統計局「国勢調査」(平成22年)

調査によって、対象範囲・数値の算出の仕方が異なる場合があります。

例：総人口

●●市の
総人口

総務省：国勢調査(5年に1回)
⇒ふだん住んでいる場所

市町村：住民基本台帳
市町村の「住民基本台帳」に登録されている人の数
⇒生活の拠点

住民票を移動せずに、
他の市町村に居住
している場合は、住
民基本台帳の方が
総人数が多くなる

その他、注意 すべきこと

● 合併した市町村のデータ

合併前のデータは、旧自治体別に示されています。合併前のデータと比べる場合は、旧自治体の数値を考慮する必要があります。

● 調査カテゴリーの変更

調査項目の分類が、時代にあわせて変化する場合があります、推移を見るときは注意する必要があります。

例：経済センサスの小分類は、「日本標準産業分類」を基に作成している。

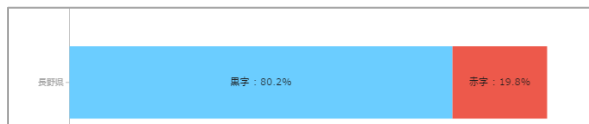
平成19年に「日本標準産業分類」の改定があり、調査項目の新設・廃止等が行われている。

統計情報を分析すること

分析する視点には、「構成」「変化」「比較」の3つがある。
 この3つの視点を用いることで、地域（まち）の特徴（強み・弱み）や企画を検討するときの判断材料を得られる。

構成

全体がどのような要素で構成されているか、内訳を確認する



変化(推移)

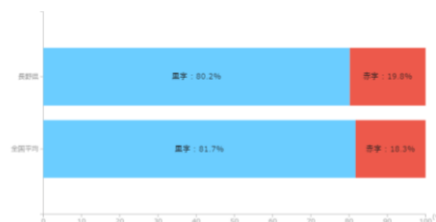
同一対象物の変化を時系列でみる



【出典】
 経済産業省「工業統計調査」、税務省・経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査」
 【その他の留意点】+

比較

量、長さ、重さ、強さなど、同一の基準で2つ以上の対象物を比べる



【出典】
 経済産業省「工業統計調査」、税務省・経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査」
 【その他の留意点】+

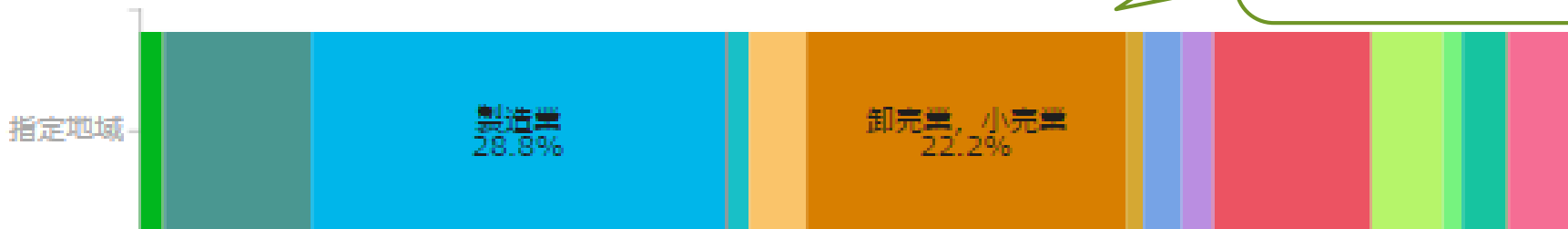
統計情報を分析すること

構成をみる

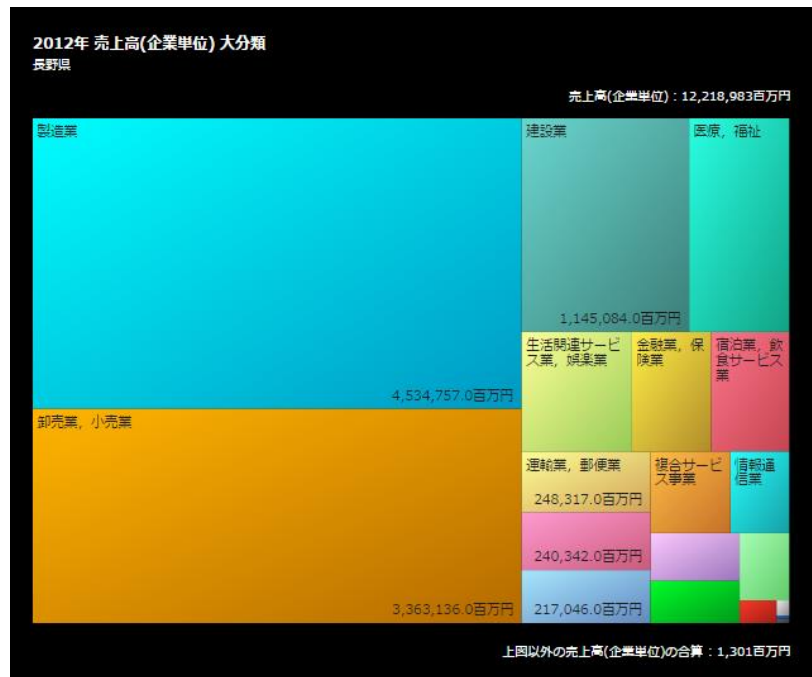
従業者数(企業単位) 2014年

指定地域：長野県

長野県の従業者数をみると、「製造業」の割合が最も高い。製造業は雇用を生み出し売上高も大きく基幹産業といえる。



- 農業, 林業
119,162.0百万円 (1.0%)
- 建設業
1,145,084.0百万円 (9.4%)
- 情報通信業
156,060.0百万円 (1.3%)
- 金融業, 保険業
300,952.0百万円 (2.5%)
- 宿泊業, 飲食サービス業
297,420.0百万円 (2.4%)
- 医療, 福祉
686,163.0百万円 (5.6%)
- 公務 (他に分類されるものを除く)
-百万円 (-%)
- 漁業
1,392.0百万円 (0.0%)
- 製造業
4,534,757.0百万円 (37.1%)
- 運輸業, 郵便業
248,317.0百万円 (2.0%)
- 不動産業, 物品賃貸業
217,046.0百万円 (1.8%)
- 生活関連サービス業, 娯楽業
422,250.0百万円 (3.5%)
- 複合サービス事業
207,654.0百万円 (1.7%)
- 分類不能の産業
-百万円 (-%)
- 鉱業, 採石業, 砂利採取業
6,193.0百万円 (0.1%)
- 電気・ガス・熱供給・水道業
26,657.0百万円 (0.2%)
- 卸売業, 小売業
3,363,136.0百万円 (27.5%)
- 学術研究, 専門・技術サービス業
137,663.0百万円 (1.1%)
- 教育, 学習支援業
107,434.0百万円 (0.9%)
- サービス業 (他に分類されないもの)
240,342.0百万円 (2.0%)



【出典】RESAS 産業マップー全産業花火図／総務省・経済産業省「平成24年経済センサスー活動調査」再編加工

統計情報を分析すること

推移をみる

製造品出荷額等

産業：製造業 > すべての中分類



【出典】RESAS 自治体比較マップー製造出荷額等／経済産業省「工業統計調査」、総務省・経済産業省「平成24年経済センサスー活動調査」

統計情報を分析すること

比較する

従業員数について全国の構成比と比較すると、製造業は長野県の方が割合が高い。全国と比べて、長野県における製造業は雇用を吸収している割合が高いといえる。

従業員数(企業単位) 2014年

指定地域：長野県

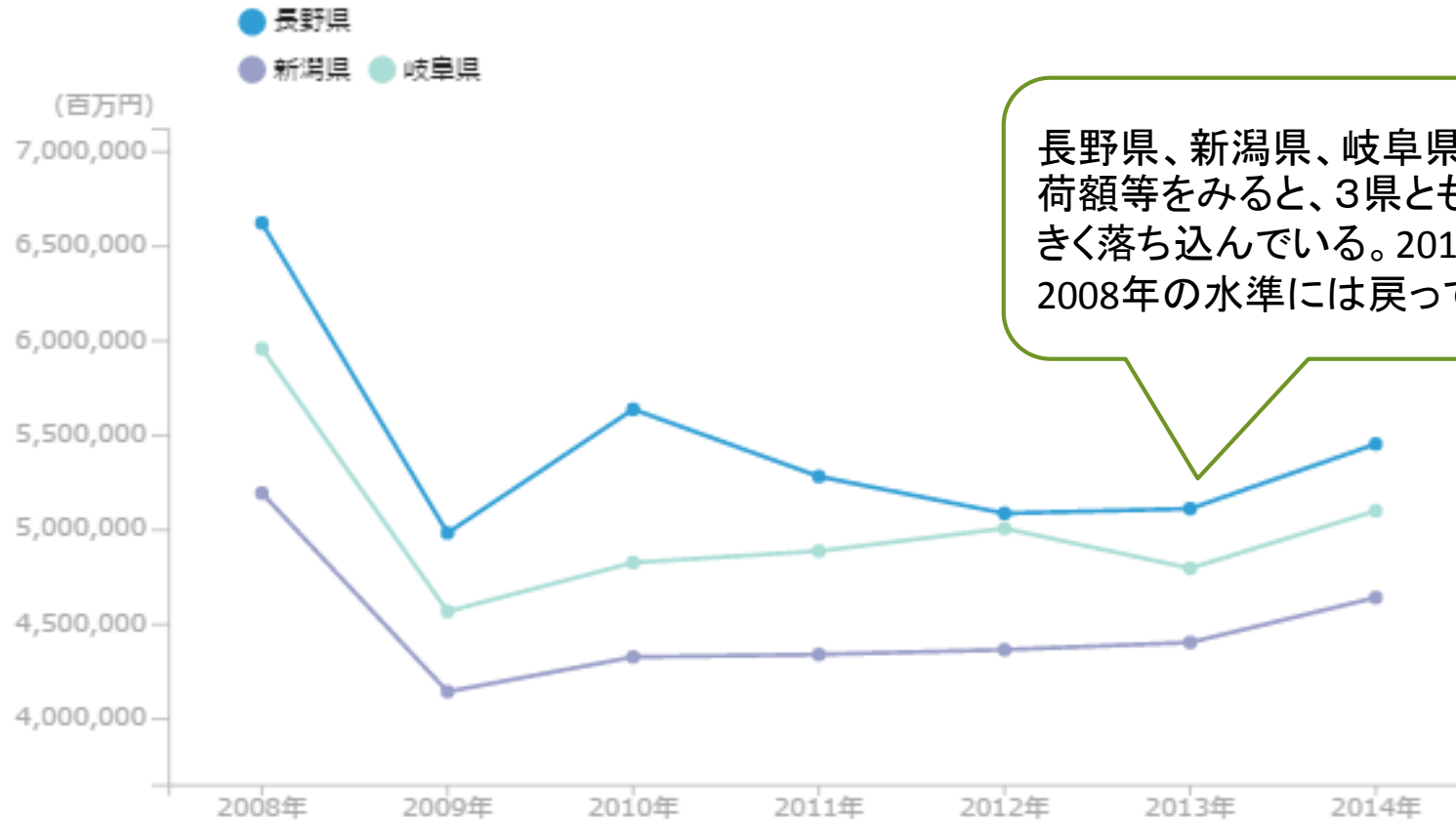


統計情報を分析すること

比較する

製造品出荷額等

産業：製造業 > すべての中分類



【出典】RESAS 自治体比較マップー製造品出荷額等／経済産業省「工業統計調査」、総務省・経済産業省「平成24年経済センサスー活動調査」

統計情報の表現手法

表現したいこと	グラフの種類																																				
<p>量の大小を あらわす</p>	<p>棒グラフ</p> <table border="1"> <caption>棒グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1990年</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>1995年</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>2000年</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>2005年</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>2010年</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	年	人数	1990年	10	1995年	30	2000年	50	2005年	20	2010年	80																								
年	人数																																				
1990年	10																																				
1995年	30																																				
2000年	50																																				
2005年	20																																				
2010年	80																																				
<p>推移を あらわす</p>	<p>折れ線グラフ</p> <table border="1"> <caption>折れ線グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>赤丸</th> <th>青角</th> <th>黄三角</th> <th>黄×</th> <th>緑三角</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2011年</td> <td>338</td> <td>289</td> <td>89</td> <td>165</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>2012年</td> <td>334</td> <td>304</td> <td>72</td> <td>198</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>2013年</td> <td>320</td> <td>270</td> <td>73</td> <td>197</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>2014年</td> <td>377</td> <td>288</td> <td>70</td> <td>184</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>2015年</td> <td>310</td> <td>300</td> <td>66</td> <td>196</td> <td>66</td> </tr> </tbody> </table>	年	赤丸	青角	黄三角	黄×	緑三角	2011年	338	289	89	165	89	2012年	334	304	72	198	72	2013年	320	270	73	197	73	2014年	377	288	70	184	70	2015年	310	300	66	196	66
年	赤丸	青角	黄三角	黄×	緑三角																																
2011年	338	289	89	165	89																																
2012年	334	304	72	198	72																																
2013年	320	270	73	197	73																																
2014年	377	288	70	184	70																																
2015年	310	300	66	196	66																																
<p>構成の割合を あらわす</p>	<p>円グラフや帯グラフ</p> <table border="1"> <caption>円グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>わからない</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>ややそう思う</td> <td>34.0%</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>36.0%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>6.0%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>帯グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>凡例</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体 N=235</td> <td>14.5</td> <td>47.2</td> <td>31.1</td> <td>7.2</td> </tr> <tr> <td>いる N=113</td> <td>10.6</td> <td>43.4</td> <td>39.8</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>いない N=121</td> <td>17.4</td> <td>51.2</td> <td>23.1</td> <td>8.3</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	わからない	4.0%	そう思う	20.0%	ややそう思う	34.0%	あまりそう思わない	36.0%	そう思わない	6.0%	凡例	A	B	C	D	全体 N=235	14.5	47.2	31.1	7.2	いる N=113	10.6	43.4	39.8	6.2	いない N=121	17.4	51.2	23.1	8.3				
回答	割合																																				
わからない	4.0%																																				
そう思う	20.0%																																				
ややそう思う	34.0%																																				
あまりそう思わない	36.0%																																				
そう思わない	6.0%																																				
凡例	A	B	C	D																																	
全体 N=235	14.5	47.2	31.1	7.2																																	
いる N=113	10.6	43.4	39.8	6.2																																	
いない N=121	17.4	51.2	23.1	8.3																																	

統計情報の表現手法

表現したいこと	グラフの種類
<p>データの散らばり具合をあらわす</p>	<p>ヒストグラム</p> <p>年齢分布</p> <p>(人)</p> <p>■ 男性 ■ 女性</p>
<p>複数の指標をまとめてあらわす</p>	<p>レーダーチャート</p> <p>農林漁業 サービス業 複合サービス業 医療、福祉 教育、学習支援業 生活関連サービス業 宿泊業、飲食業 学術研究、専門業 不動産業、物品賃貸業 金融業、保険業 卸売小売業 運輸郵便業 情報通信業 電気・ガス・熱供給 製造業 建設業 鉱業採石業</p> <p>— A 特化係数 - - - B 特化係数</p>

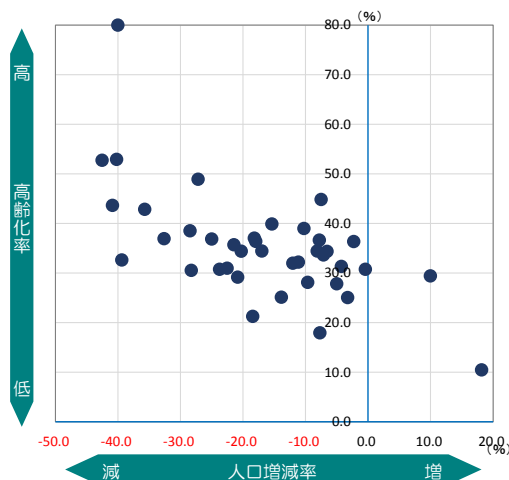
統計情報の表現手法

表現したいこと

グラフの種類

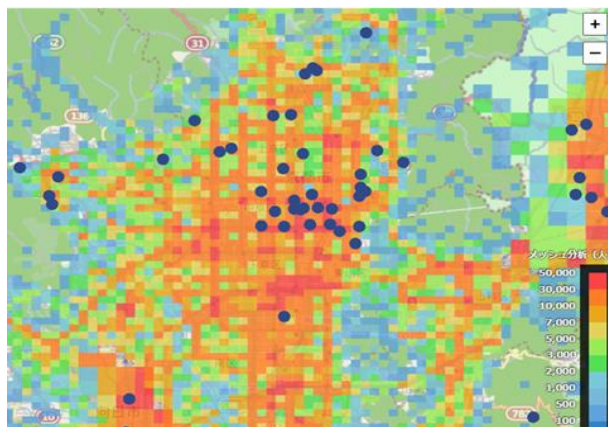
2つの量の
関係性を示す

散布図



地理的特性と
あわせて示す

ヒートマップなど



まとめ

「説得力」のある
問題・特徴の提示

人々の
共感・協力・行動を引き出す
↓
「困りごとの解決」
「魅力づくり」

地域分析や企画立案に活用できる主なデータ

数値(定量的な情報)

アンケート

統計



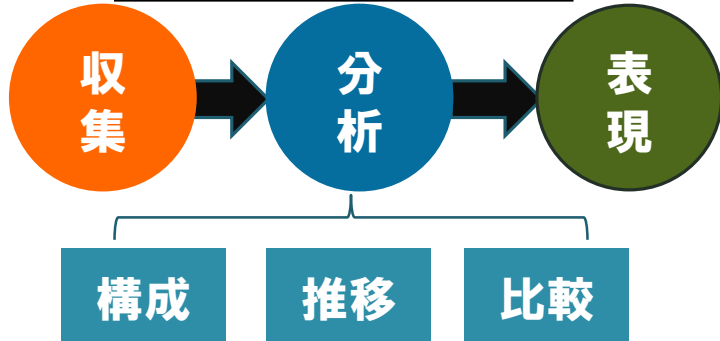
言葉・文章(定性的な情報)

文献

ヒアリング

観察・体験

データ活用の3ステップ



3つのポイント

- 目的を持って取り組む
- 目的に応じ、データを取捨選択し、多角的な視点で考える
- 「全体像」を把握してから、「詳細分析」をする

3. RESASの紹介



RESASとは？

Regional
Economy (and)
Society
Analyzing
System



RESAS（地域経済分析システム）

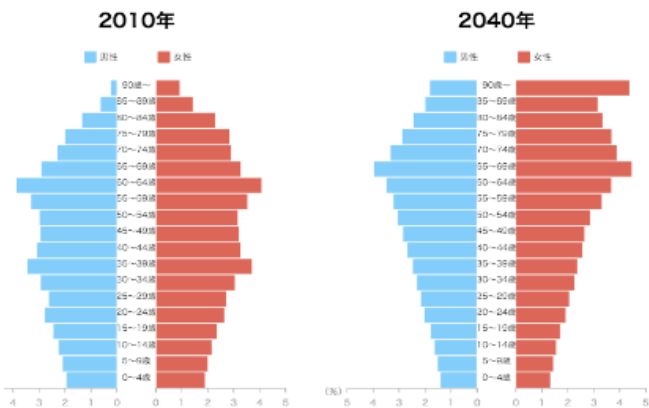


RESAS 検索または（リーサス）

- 地域経済に関わる様々なデータを収集し、かつ、わかりやすく「見える化」するシステムとして国が構築
- 平成27年4月からインターネットで公開。誰でも利用可能。
- 誰もがデータを活用して地域の現状を把握し、地域の実情に合った課題解決の取組みができるよう支援するシステム

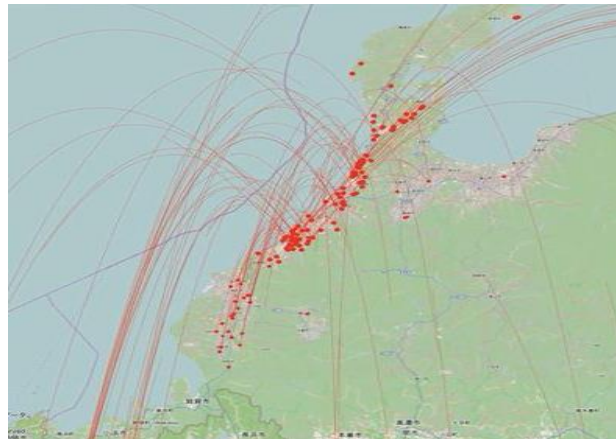
RESASでわかること（把握可能なデータ例）

人口マップ



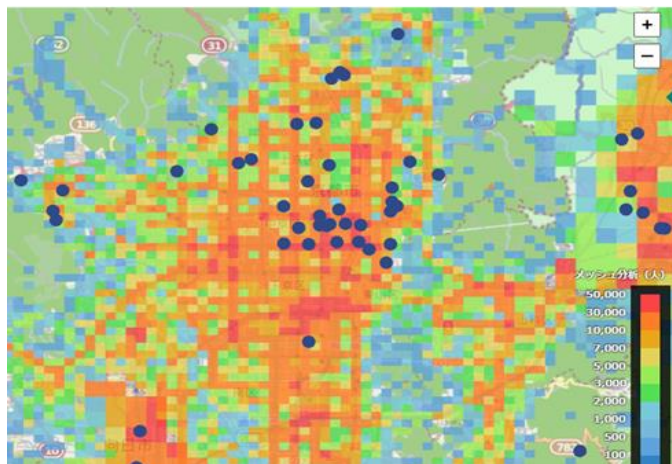
- 人口推計・推移
- 人口ピラミッド
- 出生数・死亡数
- 転入・転出 など

産業マップ



- 企業数
- 事業所数
- 雇用
- 売上付加価値額
- 稼ぐ力 など

観光マップ



- どこからどこに人が来ているか
- インバウンド観光動向 など

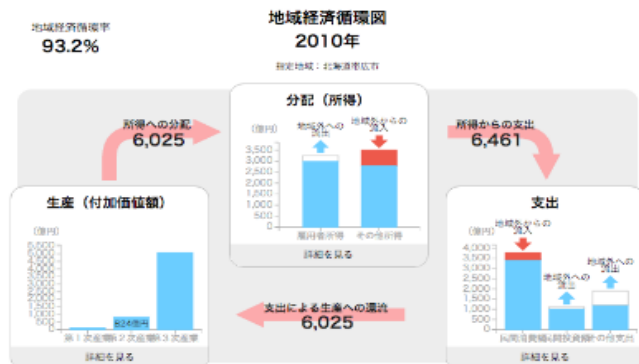
農林水産業マップ



- 農業部門別の販売、金額割合
- 農業経営者の年齢
- 農地の利用状況 など

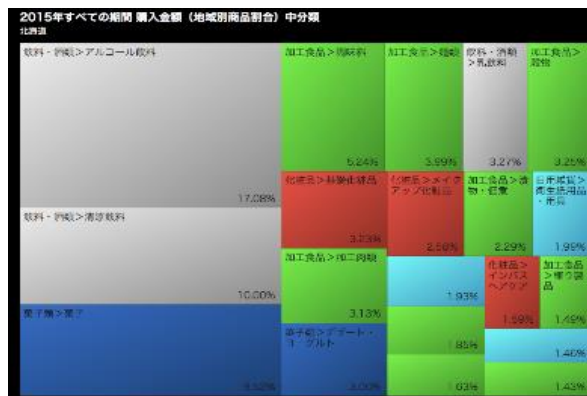
RESASでわかること（把握可能なデータ例）

地域経済循環マップ



- 自治体の生産・分配・支出におけるお金の流入・流出 など

消費マップ



- 飲食料品や日用品の購入金額
- 飲食料品や日用品の購入点数の商品別シェア など

自治体比較マップ

産業比率順位
岡山県自治体
2012年

標準自治体	全国
5位	448位

全国上位10自治体	全国下位10自治体	岡山県自治体上位下位5自治体
1位 滋賀県東近江	1,713位 福島県大郷町	444位 中野市
2位 徳島県美波町	1,713位 福島県大郷町	445位 高松市
3位 兵庫県伊丹市	1,713位 福島県大郷町	446位 高松市
4位 東京都府中市	1,713位 福島県大郷町	447位 高松市
5位 埼玉県川口市	1,713位 福島県大郷町	448位 高松市
6位 東京都府中市	1,713位 福島県大郷町	449位 高松市
7位 兵庫県伊丹市	1,713位 福島県大郷町	450位 高松市
8位 兵庫県伊丹市	1,713位 福島県大郷町	451位 高松市
9位 兵庫県伊丹市	1,713位 福島県大郷町	452位 高松市
10位 兵庫県伊丹市	1,713位 福島県大郷町	453位 高松市

- 経済構造、企業活動、労働環境、地方財政の他の自治体との比較

地域経済分析システム(RESAS)のマップ一覧

1. 産業マップ

- 1-1. 全産業花火図(一般/限定(※))
- 1-2. 産業別花火図 (※)
- 1-3. 企業別花火図 (※)
- 1-4. 稼ぐ力分析
- 1-5. 製造業花火図
- 1-6. 製造業の地域間比較
- 1-7. 中小・小規模企業財務比較
- 1-8. 研究開発費の地域間比較
- 1-9. 特許分布図
- 1-10. 事業所立地動向
- 1-11. 輸出入花火図
- 1-12. 企業の海外取引額分析
- 1-13. 海外への企業進出動向

2. 地域経済循環マップ

- 2-1. 地域経済循環図
- 2-2. 生産分析
- 2-3. 分配分析
- 2-4. 支出分析
- 2-5. 労働生産性等の動向分析

3. 農林水産業マップ

- 3-1. 農業マップ
 - 3-1-1. 農業花火図
 - 3-1-2. 農産物販売金額
 - 3-1-3. 農地分析
 - 3-1-4. 農業者分析
- 3-2. 林業マップ
 - 3-2-1. 林業総収入
 - 3-2-2. 山林分析
 - 3-2-3. 林業者分析

3-3. 水産業マップ

- 3-3-1. 海面漁業マップ
 - 3-3-1-1. 海面漁獲物販売金額
 - 3-3-1-2. 海面漁船・養殖面積等分析
 - 3-3-1-3. 海面漁業者分析
- 3-3-2. 内水面漁業マップ
 - 3-3-2-1. 内水面漁獲物等販売金額
 - 3-3-2-2. 内水面漁船・養殖面積等分析
 - 3-3-2-3. 内水面漁業者分析

4. 観光マップ

- 4-1. From-to分析(滞在人口)
- 4-2. 滞在人口率
- 4-3. メッシュ分析(流動人口)
- 4-4. 目的地分析
- 4-5. 外国人訪問分析
- 4-6. 外国人滞在分析
- 4-7. 外国人メッシュ分析
- 4-8. 外国人入出国空港分析
- 4-9. 外国人移動相関分析
- 4-10. 外国人消費花火図
- 4-11. 外国人消費分析

5. 人口マップ

- 5-1. 人口構成
- 5-2. 人口増減
- 5-3. 人口の自然増減
(地域少子化・働き方指標(散布図))
- 5-4. 人口の社会増減
- 5-5. 将来人口推計

6. 消費マップ

- 6-1. 商業花火図
- 6-2. 商業の地域間比較
- 6-3. 消費花火図
- 6-4. From-to分析(消費動向)

7. 自治体比較マップ

- 7-1. 経済構造
 - 7-1-1. 企業数
 - 7-1-2. 事業所数
 - 7-1-3. 従業者数
 - 7-1-4. 製造品出荷額等
 - 7-1-5. 年間商品販売額
 - 7-1-6. 付加価値額
 - 7-1-7. 労働生産性
- 7-2. 企業活動
 - 7-2-1. 創業比率
 - 7-2-2. 黒字赤字企業比率
 - 7-2-3. 経営者平均年齢(※)
- 7-3. 労働環境
 - 7-3-1. 有効求人倍率
 - 7-3-2. 一人当たり賃金
- 7-4. 地方財政
 - 7-4-1. 自治体財政状況の比較
 - 7-4-2. 一人当たり地方税
 - 7-4-3. 一人当たり市町村民税法人分
 - 7-4-4. 一人当たり固定資産税

黒字：従来メニュー

赤字：28年度 第1次リリース分

※ 国および地方自治体の職員が一定の制約の下で利用可能な「限定メニュー」

RESASが扱っているデータ

企業・団体等が
有するデータ



携帯電話位置情報
カーナビ検索
POSデータ

- ・
- ・
- ・

国の有する
データ

国勢調査
農林業センサス
経済センサス
商業統計

- ・
- ・

■ 「地方創生☆政策アイデアコンテスト」のご案内

**RESASを活用して自らの地域を分析し、地域を元気にするよう
な政策アイデアを国民から募集**



うちにまかせる！
地元の**未来**！

**地方創生☆政策アイデア
コンテスト 2016
アイデア募集！**

新着情報

2016.8.8

教員向け研修会を全国8地域で開催します。

2016.7.29

昨年の中高校生以下の部受賞作

「地方創生☆政策アイデアコンテスト2015」 地方創生担当大臣賞

福島市立岳陽中学校イノベーション部
「中学生の視点から地域の魅力を再発見し、観光プランを作る」



4. RESASの基本操作



例：長野県飯山市の人口推移の見方

RESASトップページ



メニューをクリック

②人口構成をクリック

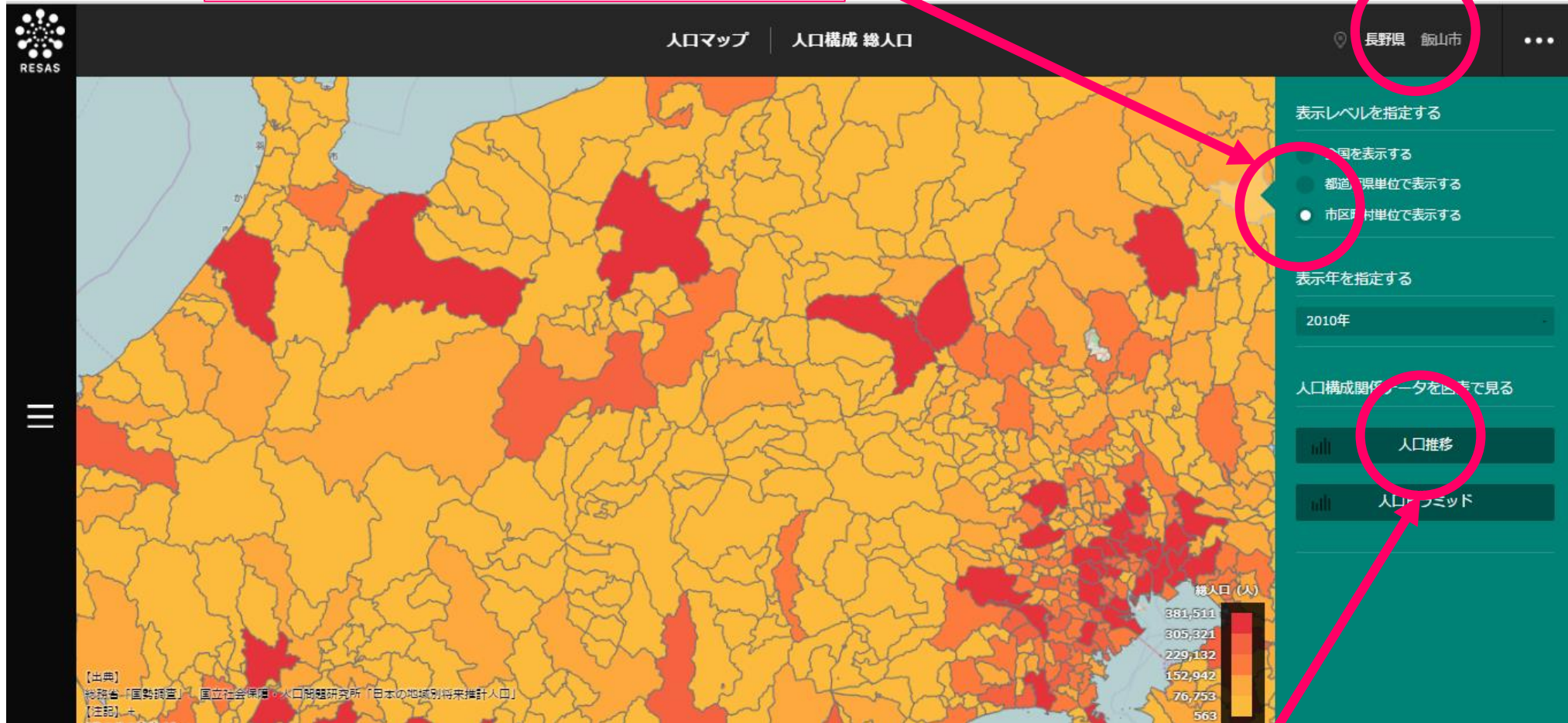


①人口マップをクリック

注意:マップには、都道府県単位だけのものもある。

②長野県と該当する市町村を選ぶ

①「市町村単位で表示する」を選択

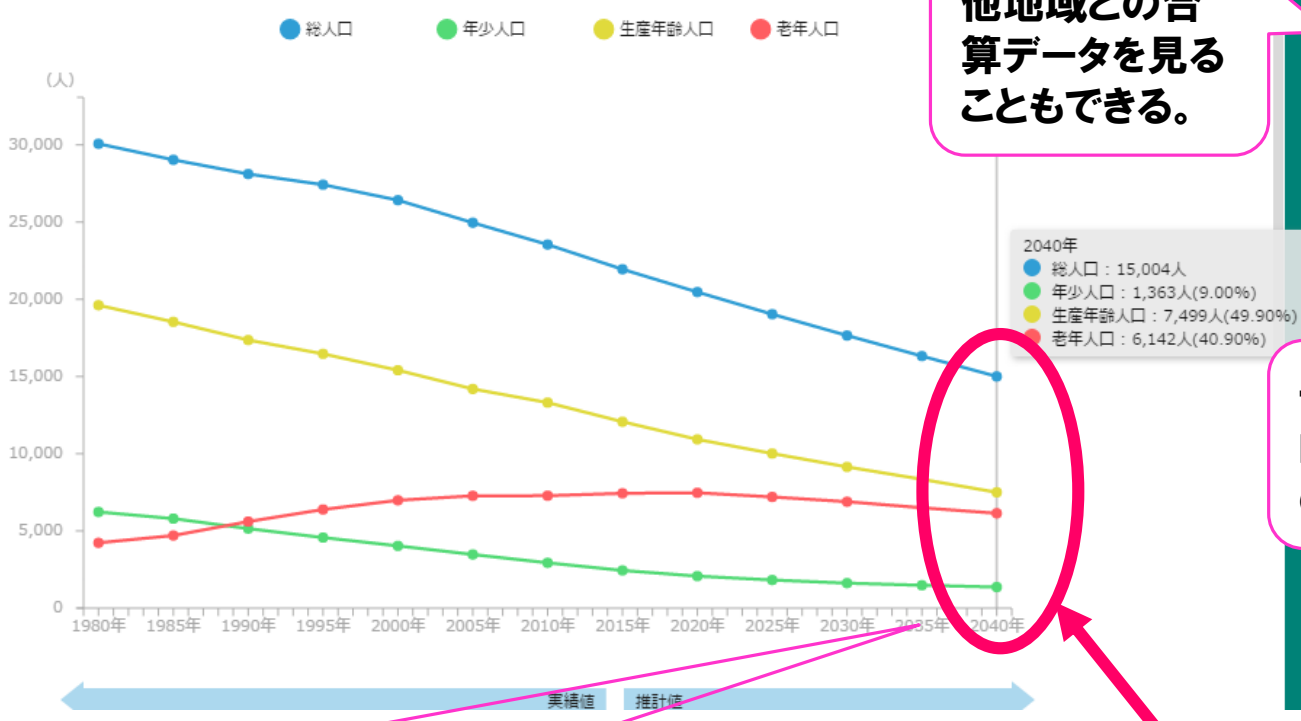


③人口推移をクリック



人口推移

長野県飯山市



他地域との合算データを見ることもできる。

他の自治体と一体的に見る

合算地域を追加する

長野県

長野市

+ 追加

データをダウンロード

データをダウンロードできるものがある

グラフをワード等、他の資料に貼り付けたいときにはスクリーンショットで保存して貼り付ける。

カーソルを合わせると数値が現れる

【出典】RESAS 人口マップ／総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
【注記】2010年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2015年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値。
総人口については、年齢不詳は除いている。
【その他の留意点】+

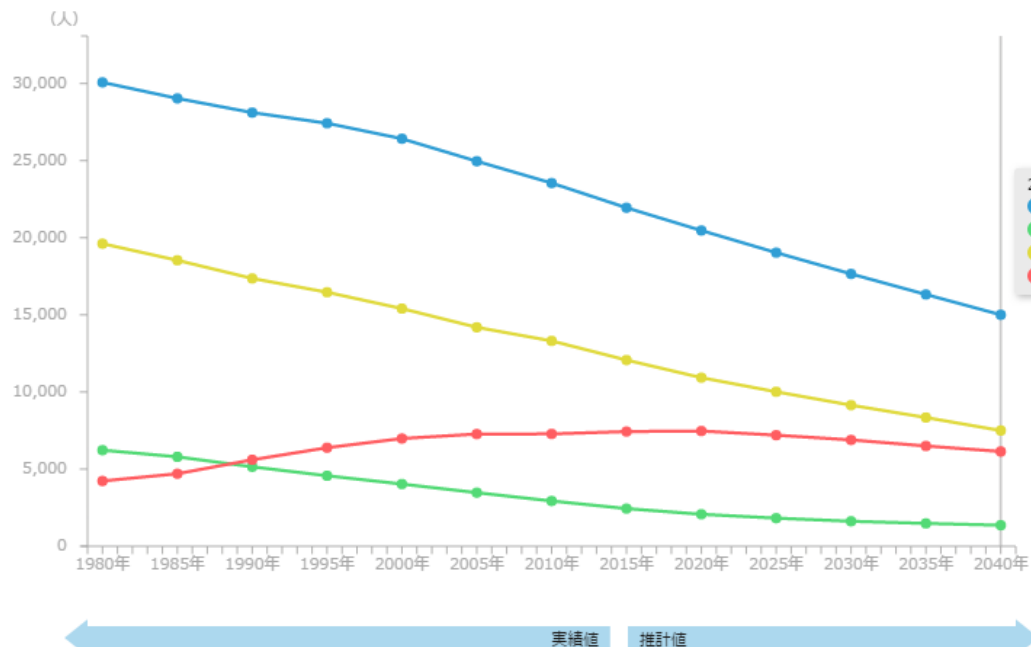
戻るときは×印を押す



人口推移

長野県飯山市

● 総人口 ● 年少人口 ● 生産年齢人口 ● 老年人口



2040年
● 総人口：15,004人
● 年少人口：1,363人(9.00%)
● 生産年齢人口：7,499人(49.90%)
● 老年人口：6,142人(40.90%)

他の自治体と一体的に見る

合算地域を追加する

長野県

長野市

+ 追加

データをダウンロード

5. RESASを使ってみよう

地域経済循環分析／産業分析

◆はじめに～（15分）

- ・持続可能な地域経済の構造とは？
- ・地域経済循環分析とは？
- ・地域の中で、付加価値額が高い産業、従業者数が高い産業、域外から多くお金を稼いでいる産業の探し方

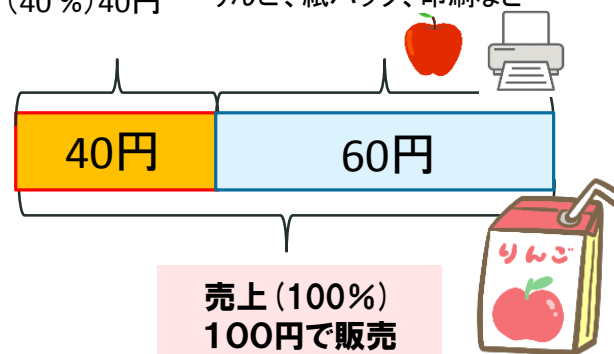
◆地域経済循環分析／産業分析（25分）

飯山市、野沢温泉村、木島平村、栄村、4市村あわせたデータを分析してみよう

- ①地域経済循環図
- ②付加価値額が高い産業
- ③従業者数が高い産業
- ④域外から多くお金を稼いでいる産業

付加価値額とは？

付加価値 (40%) 40円 社外から買った物(60%) 60円
りんご、紙パック、印刷など



持続可能な地域経済の構造



地域外からお金を稼ぎ、地域の中でお金が循環している

地域経済循環を見るポイント

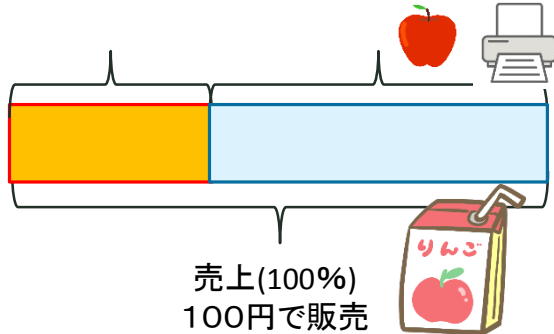
地域経済循環率

お金の流入
= 域外のお金を獲得できる

★チェックポイント①生産

- 地域内で生産(付加価値)を生み出している産業は何か(第1次産業/第2次産業/第3次産業)

付加価値 (40%) 40円 社外から買った物(60%) 60円
りんご、紙パック、印刷など



- ### ★チェックポイント②分配
- 働いている人や企業の所得は域外に頼っているか。流出しているか。自立しているか

域外への投資
域外での消費・支出

★チェックポイント③支出

- 地域外からの消費や投資を呼び込めているか
- 流出していないか。

地域の経済活動の動きを把握し、どこを強化すればより地域内でお金が循環するか、どこが要因で地域外にお金が流出しているかを知る

長野県(2010年)の地域経済循環図【RESAS:地域経済循環マップー地域経済循環図】

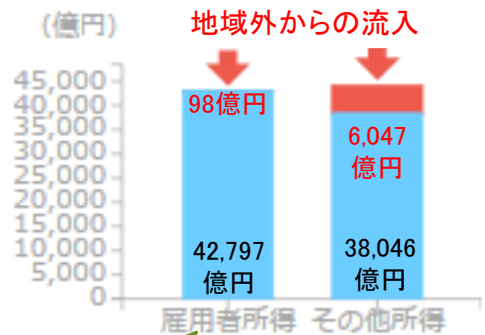
地域経済循環率
92.9%

地域経済循環図 2010年

指定地域：長野県

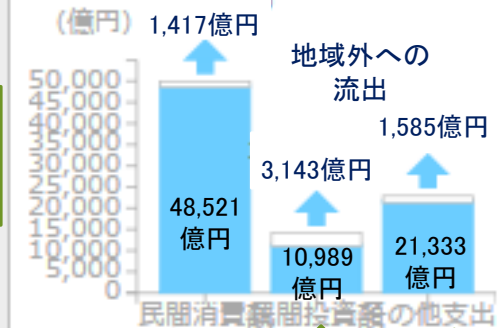
地域内の住民・企業・行政等
が獲得した所得から支出される
金額の総額

分配（所得）



所得からの支出
86,988

支出



住民の消費

企業への
投資

企業の移輸出入
／政府の投資

地域内での支出から生産へ
還流される金額の総額

支出による生産への還流
80,843

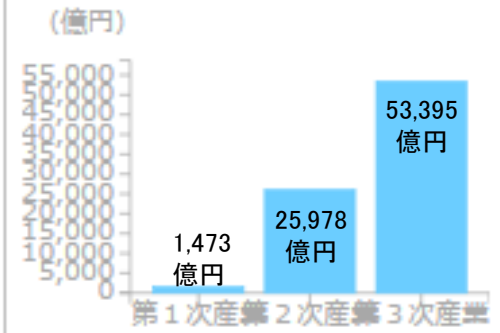
労働の対価
として得る
賃金・給与

財産所得、
企業所得、
交付税等

地域内の生産により生
み出された付加価値
額から分配される金額
の総額

所得への分配
80,843

生産（付加価値額）

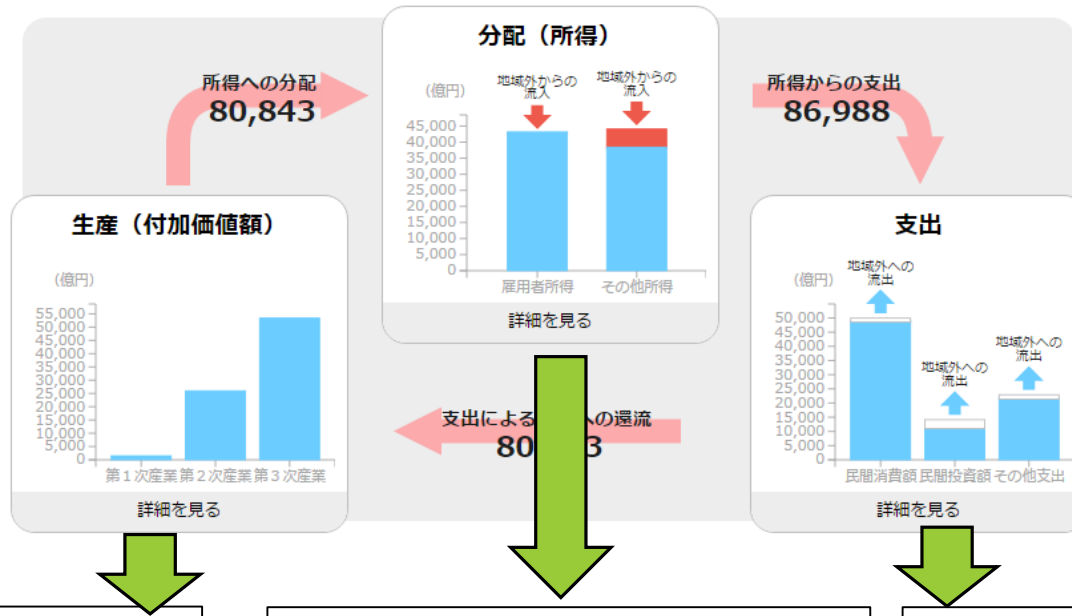


詳細を見る

- ◆移輸出：地域で生産され地域外で消費されたもの
- ◆移輸入：地域外で生産され、購入したもの

長野県(2010年)の地域経済循環図【RESAS:地域経済循環マップー地域経済循環図】

「詳細を見る」をクリックすると、
全国順位等の詳細なデータを
確認できる



■支出流出率
地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合で、プラスの値は地域外からの流入、マイナスの値は地域外への流出を示す。

付加価値額 (一人当たり) 2010年
指定地域: 長野県

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	138万円	809万円	806万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	46位	17位	25位

所得 (一人当たり) 2010年
指定地域: 長野県

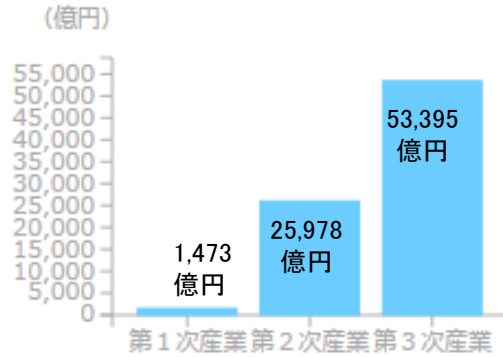
	雇用者所得	其他所得
所得 (一人当たり)	393万円	205万円
所得 (一人当たり) 順位	27位	9位

支出流出率 2010年
指定地域: 長野県

	民間消費	民間投資	其他支出
支出流出率	-2.8%	-22.2%	-6.9%
支出流出率 順位	32位	40位	14位

長野県(2010年)の地域経済循環図の解釈

生産 (付加価値額)

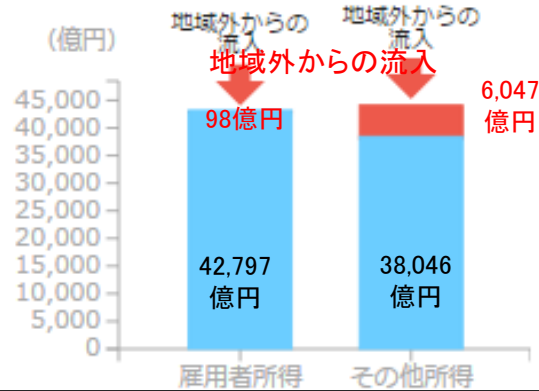


	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	138万円	809万円	806万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	46位	17位	25位

総額の66%を第3次産業が、33%を第2次産業が占めている。

1人当たりの付加価値は、全国中、第2次産業が最も高く、比較的生産性が高い。第1次産業は全国的にも低い水準となっている。

分配 (所得)

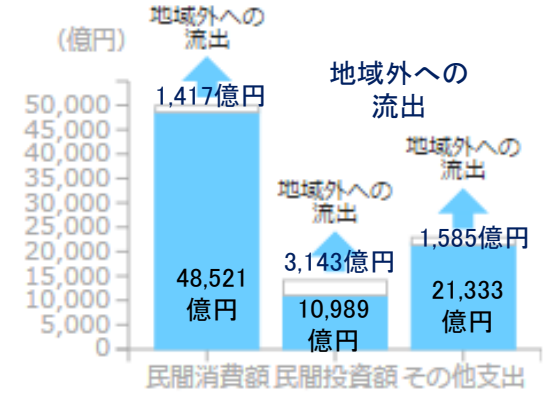


	雇用者所得	その他所得
所得 (一人当たり)	393万円	205万円
所得 (一人当たり) 順位	27位	9位

域外から「雇用者所得」「その他所得」の流入が見られる。

雇用者所得の流入は、県内在住者が県外で報酬を得ている実態を示している。
その他の所得は、地域の活動の資金不足を交付税等で補っていることを表しており、県民1人当たりで全国で9位の水準にある。

支出



	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出率	-2.8%	-22.2%	-6.9%
支出流出率 順位	32位	40位	14位

民間消費額の97%は県内に支出されているが約3%が域外へ流出している。

民間投資の約2割は県外に流出しており、全国的にも地域内循環率が低い。
その他の支出は、93%が県内に支出されているが約7%が域外へ流出している。

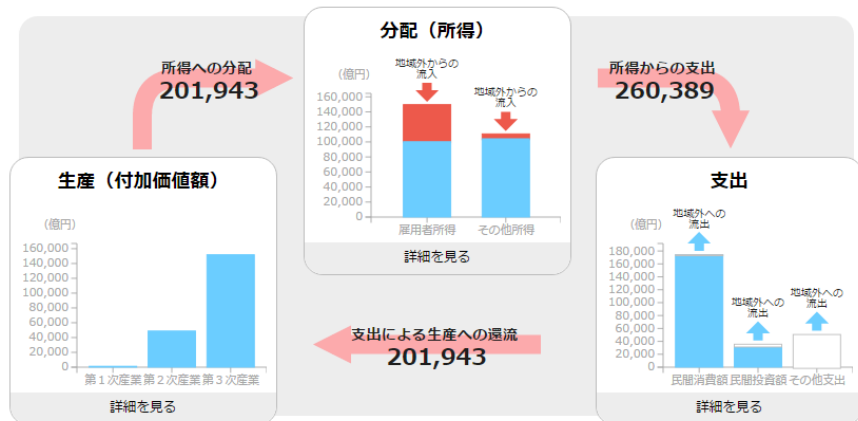
当ててみよう!
比べてみよう!

東京都／埼玉県／長野県／高知県

【RESAS:地域経済循環マップー地域経済循環図】

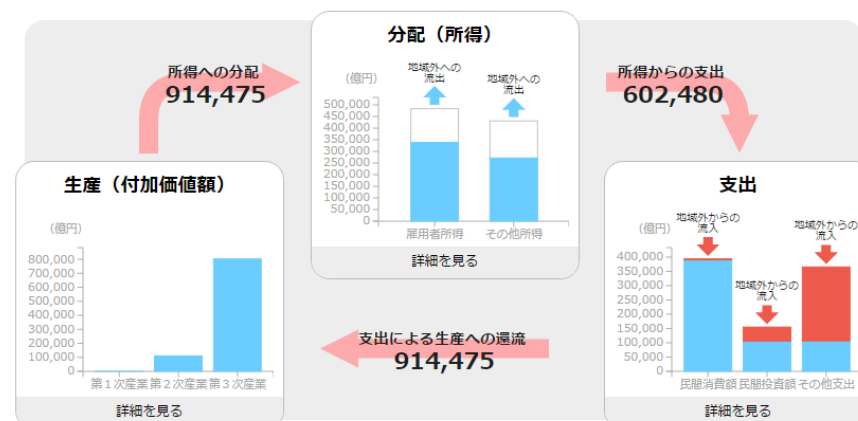
A

地域内循環率 77.6%



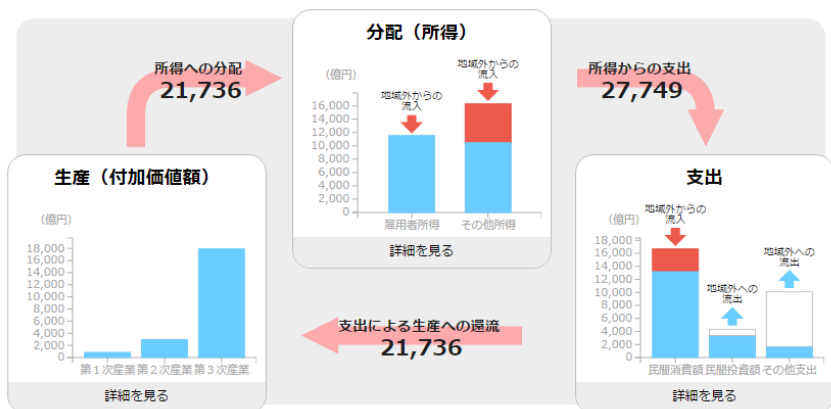
B

地域内循環率 151.8%



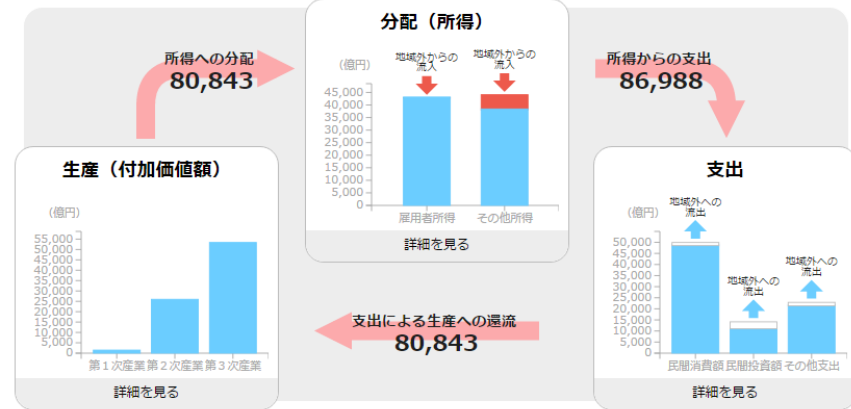
C

地域内循環率 78.3%



D

地域内循環率 92.9%



【出典】RESAS:地域経済循環マップー地域経済循環図／環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

地域経済循環分析による地域の類型(SCOPによる整理)

ベッドタウン型

【特徴】

- 地域外からの「雇用者所得」の割合が高い
(他地域から所得を分配されている
＝他地域にサービスを提供する労働者が多い)
- 「その他支出」の地域外流出が大きい
(住環境特化のため、地域内に取引企業が少ない)

【主な取り組みの方向性】

- **ベッドタウンとしての強みの維持・向上**
- **第三次産業の生産性の向上 など**

経済中枢型

【特徴】

- 地域外へ流出する「雇用者所得」「その他所得」が多い(他地域にも所得を分配している)
- 「民間投資額」「その他支出」の地域外からの流入が大きい(地域外からの活発なサービスの購入や投資を呼び込んでいる)

【主な取り組みの方向性】

- **本社機能の集中促進**
- **ビジネスの中核拠点としての利便性の向上**

ローカル・依存型

【特徴】

- 地域外からの「その他所得」の割合が高い
(交付税などの政府からの資金が多く入っている)
- 「その他支出」の地域外流出が大きい
(企業の集積が薄いため、地域内に取引対象となる企業が少ない)

【主な取り組みの方向性】

- **地域外から外貨を稼ぐ基盤産業の誘致**
- **消費・支出・投資の外部流出の抑制**

ローカル・自立型

【特徴】

- 地域外からの「その他所得」の割合が『ローカル・依存型』に比べて少ない(交付税などの政府資金も入っているが他の所得である程度カバー)
- 「支出」の地域外への流出が少ない
(消費地や取引先となる企業の集積が一定ある)

【主な取り組みの方向性】

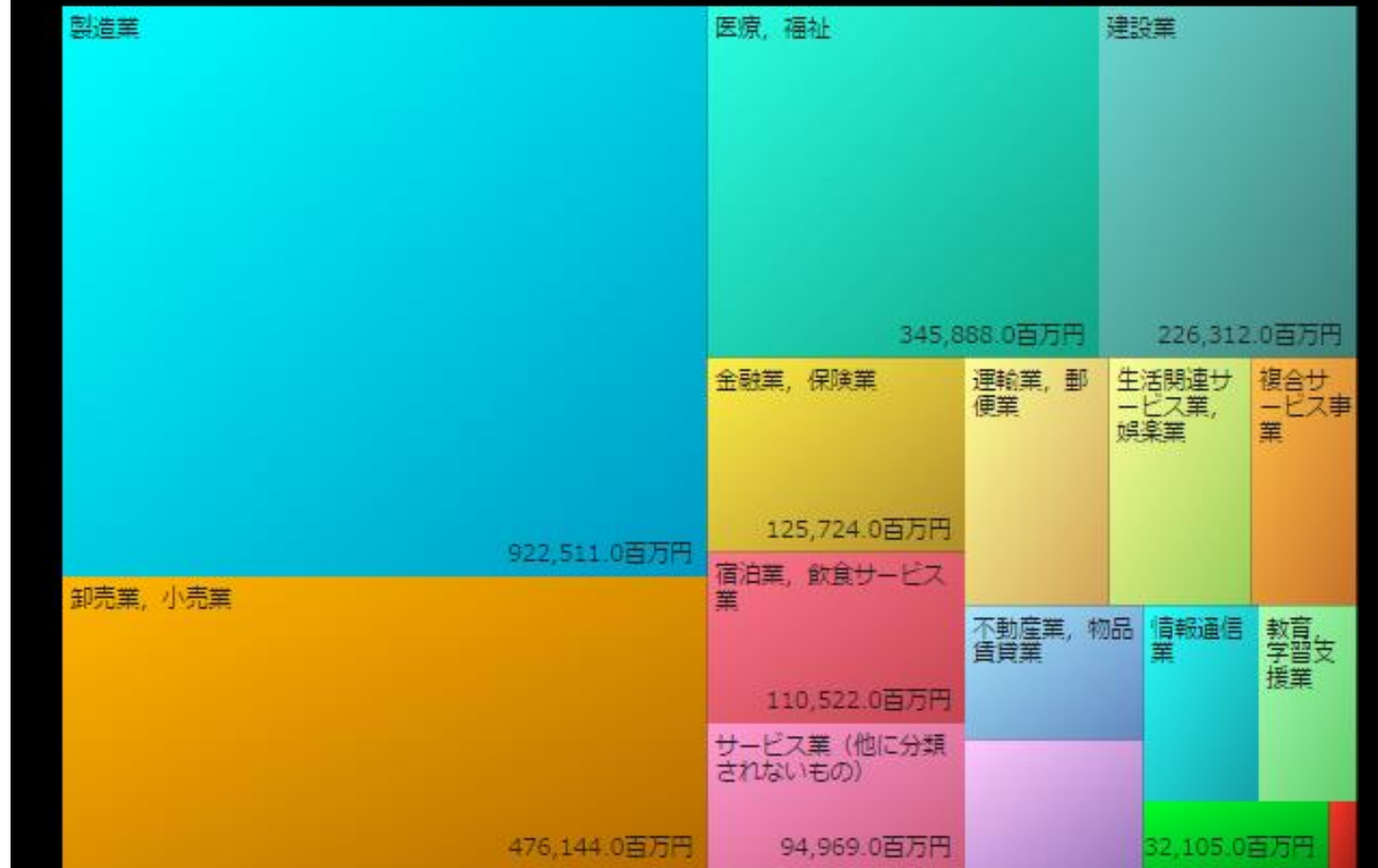
- **地域外から外貨を稼ぐ基盤産業の成長促進**
- **消費・支出・投資の外部流出の抑制**

長野県 産業構造（付加価値額－企業単位）

付加価値額の総額は2兆8,078億円。
内訳で見ると、製造業が最も多く9,225億円。
次いで卸売業・小売業が多い。

2012年 付加価値額(企業単位) 大分類
長野県

付加価値額(企業単位)：2,807,802百万円



上図以外の付加価値額(企業単位)の合算：402百万円

企業単位：

事業・活動を行う法人（外国の会社を除く。）及び個人経営の事業所。
※本社の所在地にまとめて計上

事業所単位：

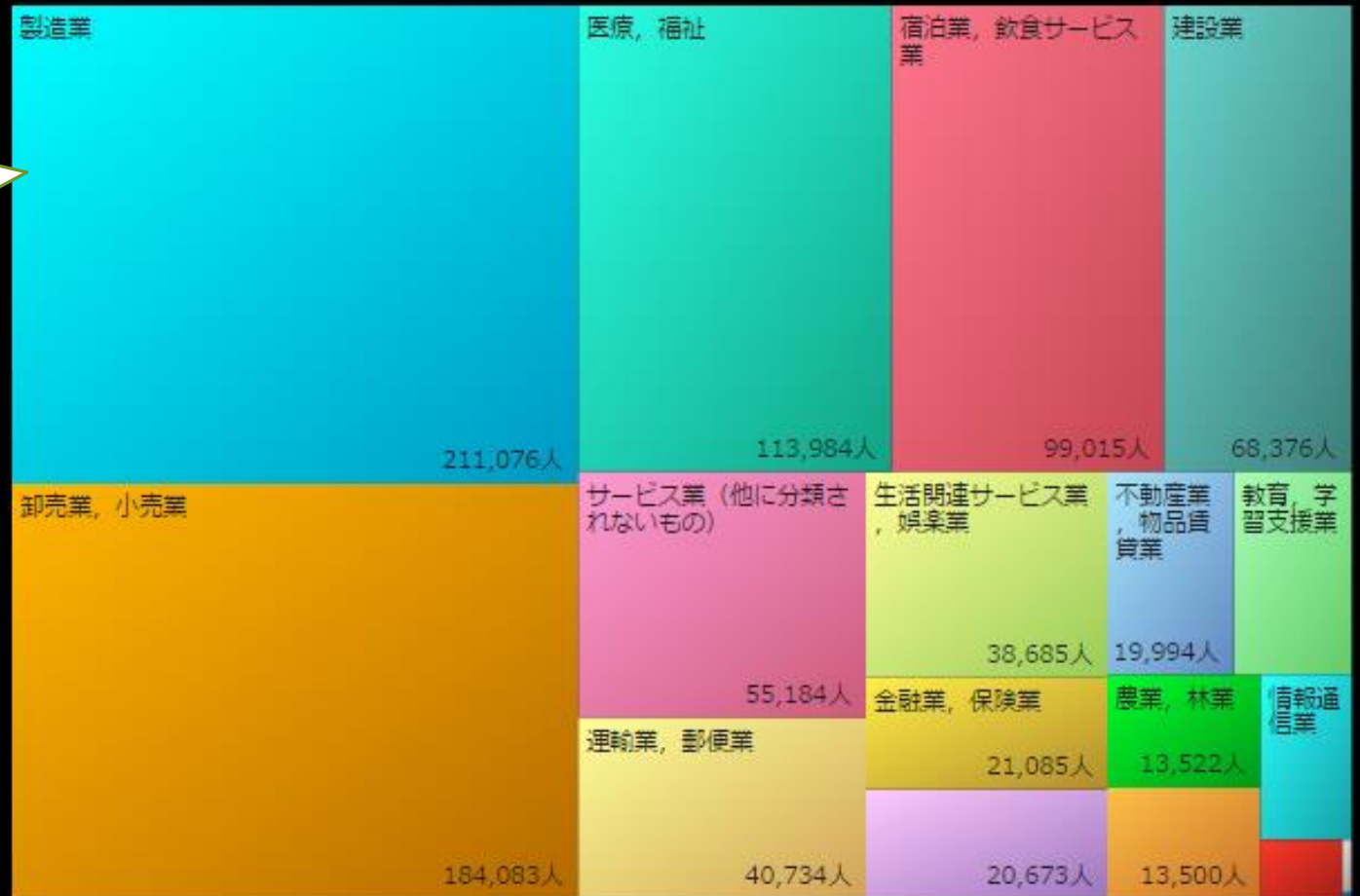
経済活動が行われている場所ごとの単位で、原則として次の要件を備えているもの。

- 1) 一定の場所を占めて、単一も経営主体のもとで経済活動が行われていること
- 2) 従業者と設備を有して、物の生産や販売、サービスの提供が継続的に行われていること

長野県 産業構造（従業者数—事業所単位）

2014年 従業者数(事業所単位) 大分類
長野県

従業者数(事業所単位) : 934,622人

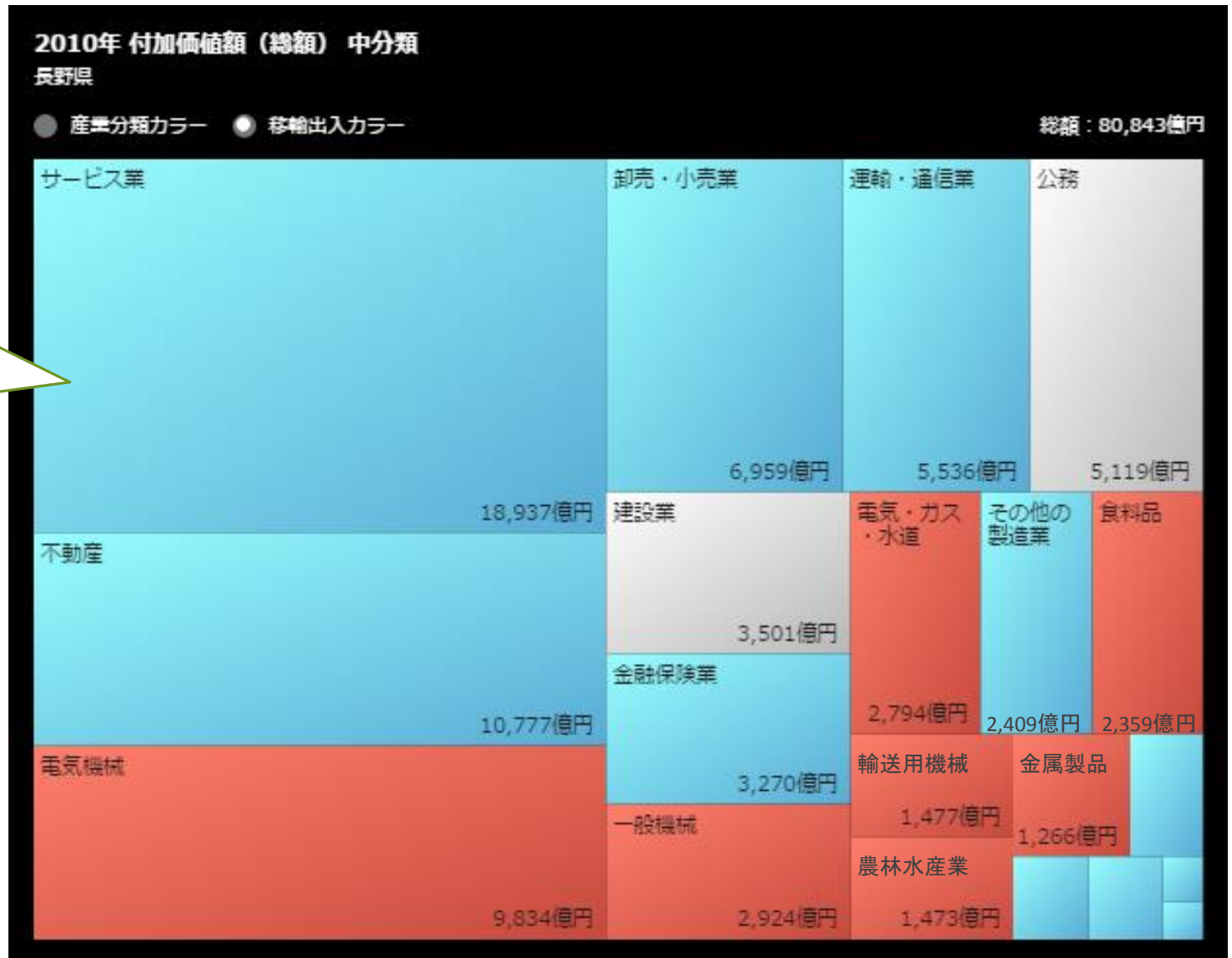


上図以外の従業者数(事業所単位)の合算 : 0人

従業者数総数では
934,622人。
内訳でみると、製造業
211,076人、卸売業・
小売業184,083人と
なっている。

【出典】RESAS 産業マップ—全産業花火図／総務省「経済センサス—基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス—活動調査」再編加工
【注記】会社と個人事業所の従業者総数。

長野県 (生産分析—付加価値額)

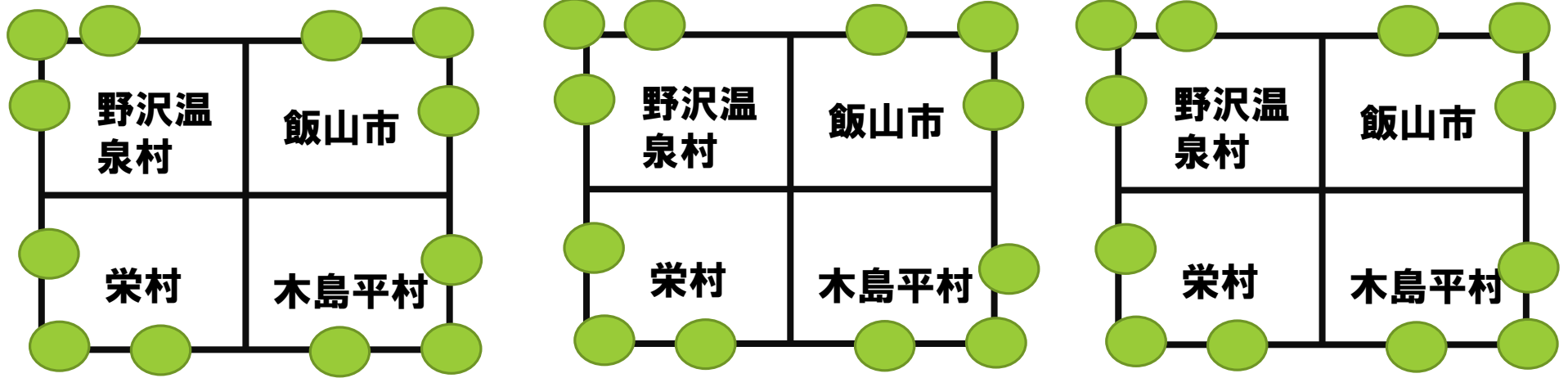


域外からお金を稼いでいるのは、電気機械、一般機械、電気・ガス・水道である。

赤色＝移輸出額の方が多い(移輸入額<移輸出額)
⇒地域外からお金を稼いでいる産業

青色＝移輸入額の方が多い(移輸入額>移輸出額)
⇒地域外から必要としているものを調達している産業

前



演習の進め方

①それぞれ担当する市・村の地域経済循環図を分析する(10分)

②それぞれ担当する市・村の生産分析を行う。

1)~3)の産業を特定する(10分)

1)付加価値額が高い産業

2)従業者数が高い産業

3)域外から多くお金を稼いでいる産業

③4つ市村あわせた合算値をつくる。

1)~2)を特定する(5分)

1)付加価値額が高い産業

2)従業者数が高い産業

早く終わった
ところは、他の
市・村を見て
みる

市・村の状況につい
て、発表し、他の市・
村の状況を共有
(10分)

地域経済循環図のまとめ

	地域経済循環率	生産 (付加価値額)	分配	支出
飯山市	%	【総生産額】 億円 【最も金額が大きい】 1次・2次・3次	【雇用者所得】 流出・流入 【その他所得】 流出・流入 ⇒どちらの流出・流入が多いか	【民間者所得】 流出・流入 【民間投資】 流出・流入 【その他の支出】 流出・流入
	【どんな特徴があるかな】			分類するとどれでしょうか？ 1 ベッドタウン型 2 経済中枢型 3 ローカル・依存型 4 ローカル・自立型
野沢温泉村	%	【総生産額】 億円 【最も金額が大きい】 1次・2次・3次	【雇用者所得】 流出・流入 【その他所得】 流出・流入 ⇒どちらの流出・流入が多いか	【民間者所得】 流出・流入 【民間投資】 流出・流入 【その他の支出】 流出・流入
	【どんな特徴があるかな】			分類するとどれでしょうか？ 1 ベッドタウン型 2 経済中枢型 3 ローカル・依存型 4 ローカル・自立型

地域経済循環図のまとめ

	地域経済循環率	生産 (付加価値額)	分配	支出
木島平村	%	【総生産額】 億円 【最も金額が大きい】 1次・2次・3次	【雇用者所得】 流出・流入 【その他所得】 流出・流入 ⇒どちらの流出・流入が多いか	【民間者所得】 流出・流入 【民間投資】 流出・流入 【その他の支出】 流出・流入
	【どんな特徴があるかな】			分類するとどれでしょうか？ 1 ベッドタウン型 2 経済中枢型 3 ローカル・依存型 4 ローカル・自立型
栄村	%	【総生産額】 億円 【最も金額が大きい】 1次・2次・3次	【雇用者所得】 流出・流入 【その他所得】 流出・流入 ⇒どちらの流出・流入が多いか	【民間者所得】 流出・流入 【民間投資】 流出・流入 【その他の支出】 流出・流入
	【どんな特徴があるかな】			分類するとどれでしょうか？ 1 ベッドタウン型 2 経済中枢型 3 ローカル・依存型 4 ローカル・自立型

産業構造のまとめ

	付加価値額(企業単位)	従業者数(事業所単位)	地域外からお金を稼いでいる産業
飯山市	【総額】 億円 【内訳】 1位 2位	【総額】 人 【内訳】 1位 2位	
野沢温泉村	【総額】 億円 【内訳】 1位 2位	【総額】 人 【内訳】 1位 2位	
木曾平村	【総額】 億円 【内訳】 1位 2位	【総額】 人 【内訳】 1位 2位	
栄村	【総額】 億円 【内訳】 1位 2位	【総額】 人 【内訳】 1位 2位	
4市村の合算	【総額】 億円 【内訳】 1位 2位	【総額】 人 【内訳】 1位 2位	

【出典】RESAS 産業マップー全産業花火図／総務省・経済産業省「平成24年経済センサスー活動調査」再編加工
RESAS 地域経済循環マップー地域経済循環図／環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

【注記】付加価値額＝売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課(費用総額＝売上原価＋販売費及び一般管理費)

地域経済循環図のまとめ

	地域経済循環率	生産 (付加価値額)	分配	支出
飯山市	75.1%	【総生産額】 703 億円 【最も金額が大きい】 1次・2次・3次	【雇用者所得】 流出・流入 【その他所得】 流出・流入 ⇒どちらの流出・流入が多いか その他所得の流入	【民間者所得】 流出・流入 【民間投資】 流出・流入 【その他の支出】 流出・流入
	分類するとどれでしょうか？ 1 ベッドタウン型 2 経済中枢型 3 ローカル・依存型 4 ローカル・自立型			
野沢温泉村	55.8%	【総生産額】 87 億円 【最も金額が大きい】 1次・2次・3次	【雇用者所得】 流出・流入 【その他所得】 流出・流入 ⇒どちらの流出・流入が多いか その他所得の流入	【民間者所得】 流出・流入 【民間投資】 流出・流入 【その他の支出】 流出・流入
	分類するとどれでしょうか？ 1 ベッドタウン型 2 経済中枢型 3 ローカル・依存型 4 ローカル・自立型			

地域経済循環図のまとめ

	地域経済循環率	生産 (付加価値額)	分配	支出
木島平村	46.6%	【総生産額】 87 億円	【雇用者所得】 流出・流入 【その他所得】 流出・流入 ⇒どちらの流出・流入が多いか その他所得の流入	【民間者所得】 流出・流入 【民間投資】 流出・流入 【その他の支出】 流出・流入
		【最も金額が大きい】 1次・2次・3次	【分類するとどれでしょうか？】 1 ベッドタウン型 2 経済中枢型 3 ローカル・依存型 4 ローカル・自立型	
栄村	39.6 %	【総生産額】 55 億円	【雇用者所得】 流出・流入 【その他所得】 流出・流入 ⇒どちらの流出・流入が多いか その他所得の流入	【民間者所得】 流出・流入 【民間投資】 流出・流入 【その他の支出】 流出・流入
		【最も金額が大きい】 1次・2次・3次	分類するとどれでしょうか？ 1 ベッドタウン型 2 経済中枢型 3 ローカル・依存型 4 ローカル・自立型	

産業構造のまとめ

	付加価値額(企業単位)	従業者数(事業所単位)	地域外からお金を稼いでいる産業
飯山市	【総額】220億円 【内訳】 ①製造業 ②卸売業・小売業	【総数】8,756人 【内訳】 ①卸売業・小売業 ②製造業	電気機械、 電気・ガス・水道 農林水産業 金属製品
野沢温泉村	【総額】24億円 【内訳】 ①宿泊業、飲食サービス業 ②卸売業・小売業	【総数】2,256人 【内訳】 ①宿泊業、飲食サービス業 ②運輸業・郵便業	サービス業 農林水産業 電気・ガス・水道
木島平村	【総額】26億円 【内訳】 ①製造業 ②卸売業・小売業、建設業	【総数】1,193人 【内訳】 ①製造業 ②卸売業・小売業	農林水産業 食料品 その他の製造業
栄村	【総額】10億円 【内訳】 ①製造業 ②建設業	【総数】676人 【内訳】 ①卸売業、小売業 ②建設業	農林水産業 窯業・土石製品
4市村の合算	【総額】280億円 【内訳】 ①製造業 ②卸売業、小売業	【総数】12,881人 【内訳】 ①卸売業・小売業 ②宿泊業、飲食サービス業	—

【出典】RESAS 産業マップー全産業花火図／総務省・経済産業省「平成24年経済センサスー活動調査」再編加工
RESAS 地域経済循環マップー地域経済循環図／環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)
受託作成)

【注記】付加価値額＝売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課(費用総額＝売上原価＋販売費及び一般管理費)

まとめ

- 地域の産業を活性化するには、地域の経済を支える付加価値額が高い産業、従業者数が多い産業、地域外からお金を稼いでいる産業について、現況をさらに詳しく分析し、伸ばしていく取り組みを考えていくことが必要です。
- どの地域も「地域外からお金を稼ぐ産業の強化」や「消費・支出・投資の地域外への流出の抑制」を進めていくことが必要ですが、各市村単体でできることは限られています。
- みなさんが住んでいる4市村で、どんな取り組みをすべきか、ぜひ考えてみてください。

①地域外との取引で
多くのカネ(外貨)を獲得する



②獲得した外貨を
地域内で循環させる
(外部へのモレを小さくする)

地域経済の自立度を示している
(値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い)

飯山市 地域経済循環

地域経済循環率
75.1%

地域経済循環図 2010年

地域：長野県飯山市

企業所得、交付税等の「その所得」は地域外から230億円が流入している。

チェック②

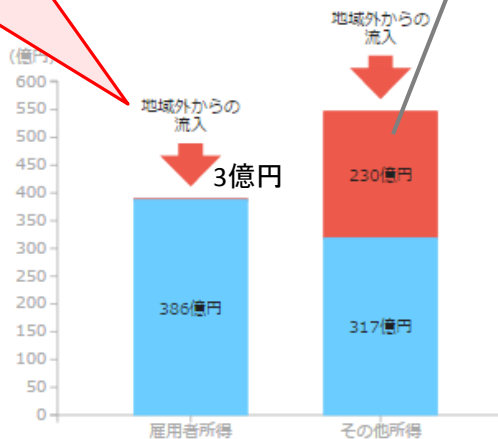
働いている人や企業の所得は域外に頼っているか？流出しているか？自立しているか？

※「その所得」は財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得

生産により生み出された付加価値額は703億円で、第3次産業が最も多い。

所得への分配
703

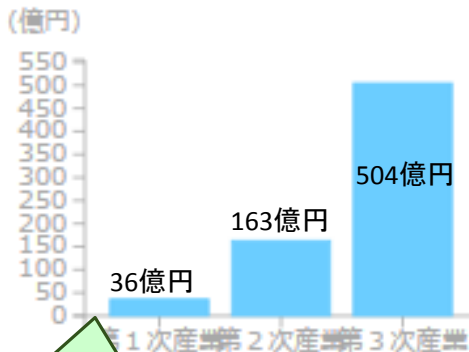
分配（所得）



所得からの支出
936

チェック③
地域外からの消費や投資を呼び込めているか？

生産（付加価値額）



チェック①

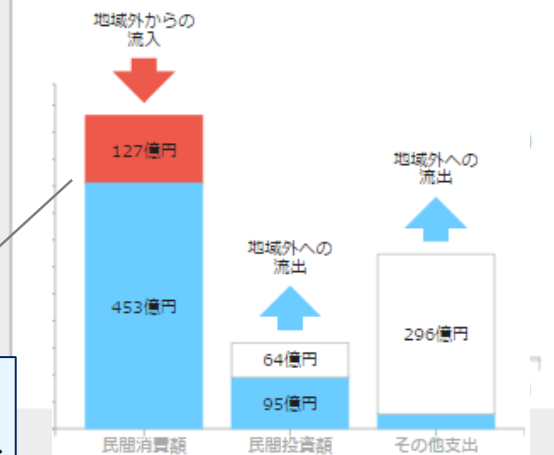
地域内で付加価値額が多い産業は？

一人当たりの雇用者所得
317万円

支出による生産への還流
703

得た所得からの支出については、民間消費額は、地域外からの流入がある。一方、民間投資額、その他の支出は地域外への流出がみられ、総合的にみると生産に回せるお金が減ってしまっている。

支出



※「その他支出」は、政府支出、地域内産業の移輸出入収支額等により構成される。

野沢温泉村 地域経済循環

地域経済循環率
55.8%

地域経済循環図 2010年

指定地域：長野県野沢温泉村

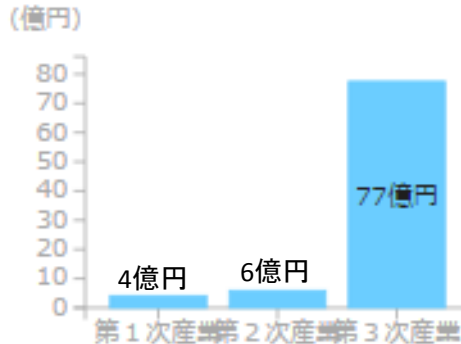
分配(所得)については、雇用者所得をみると11億円が地域外から流入している。住民が地域外で働き収入を得ている。企業所得、交付税等の「その他所得」では**59億円が地域外から流入している。**

※「その他所得」は財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得

生産により生み出された付加価値額は87億円で、第3次産業が最も多い。

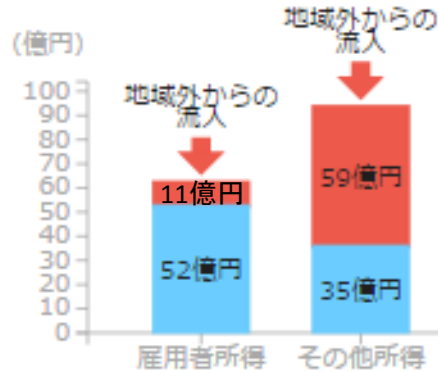
所得への分配
87

生産（付加価値額）



詳細を見る

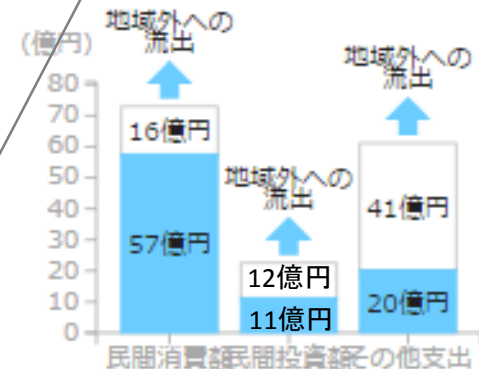
分配（所得）



詳細を見る

所得からの支出
157

支出



詳細を見る

支出による生産への還流
87

得た所得からの支出については、民間消費額、民間投資額、その他の支出いづれにおいても地域外への流出がみられ、生産に回せるお金がほぼ半減してしまっている。

※「その他支出」は、政府支出、地域内産業の移輸出入収支額等により構成される。

木島平村 地域経済循環

地域経済循環率
46.6%

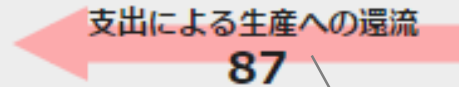
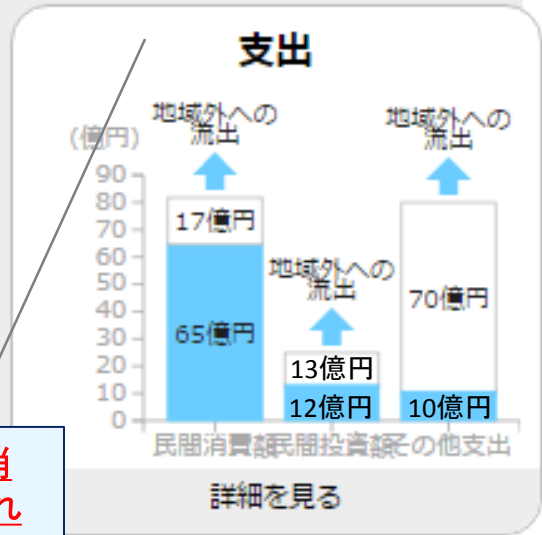
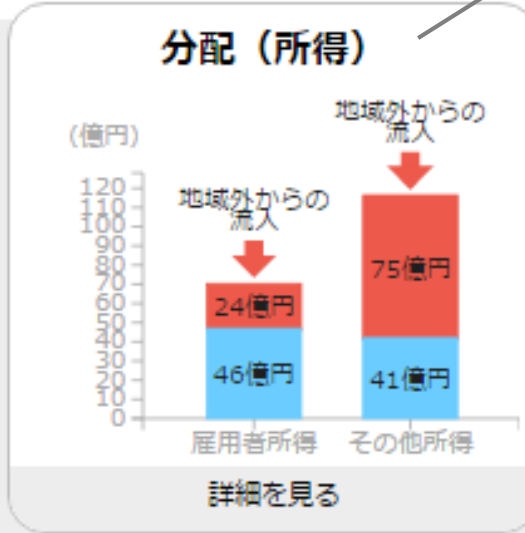
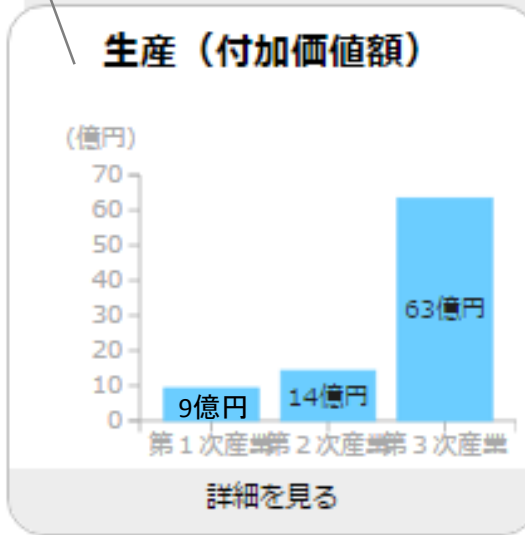
地域経済循環図 2010年

指定地域：長野県木島平村

分配(所得)については、雇用者所得で24億円が地域外から流入しているほか、企業所得、交付税等の「その他所得」で75億円が地域外から流入している。

※「その他所得」は財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得

生産により生み出された付加価値額は87億円で、第3次産業が最も多い。



得た所得からの支出については、民間消費額、民間投資額、その他の支出いずれにおいても地域外へ流出し、半分以上が失われており、生産に回せるお金が大きく減っている。

※「その他支出」は、政府支出、地域内産業の移輸出入収支額等により構成される。

栄村 地域経済循環

地域経済循環率
39.6%

地域経済循環図

2010年

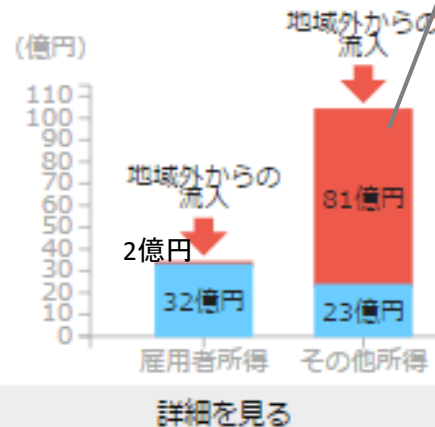
指定地域：長野県栄村

企業所得、交付税等の「その他所得」は地域外から81億円が流入している。

生産により生み出された付加価値額は55億円で、第3次産業が最も多い。

所得への分配
55

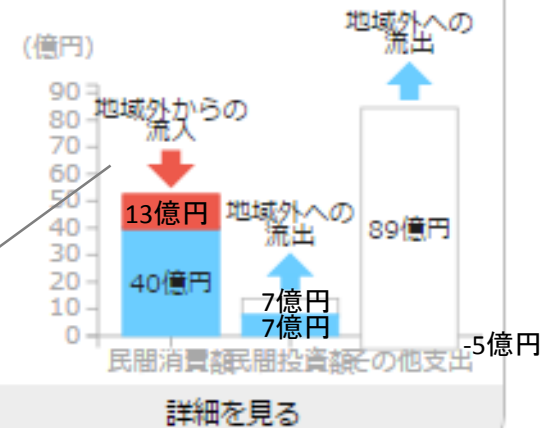
分配（所得）



※「その他所得」は財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得

所得からの支出
138

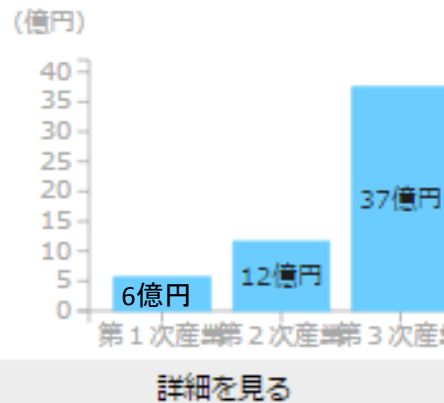
支出



※「その他支出」は、政府支出、地域内産業の移輸出入収支額等により構成される。

支出による生産への還流
55

生産（付加価値額）



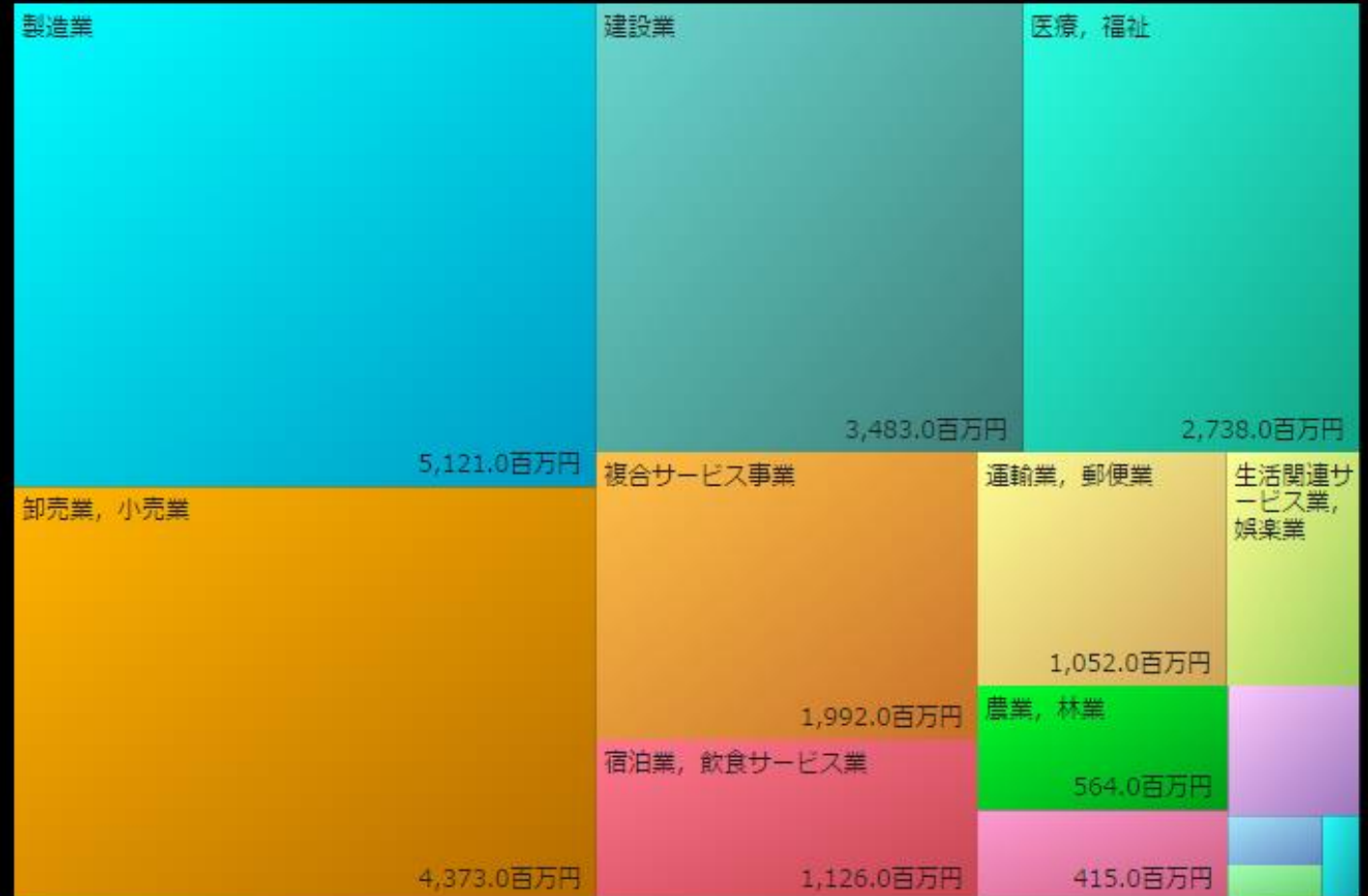
得た所得からの支出については、民間消費額では13億円の地域外からの流入がある。一方、その他の支出において89億円も流出しており、結果的には所得の約6割が失われ、生産に回せるお金が大きく減っている。

飯山市 産業構造（付加価値額－企業単位）

付加価値額の総額は220億円。
内訳でみると、製造業が最も多く、次いで卸売業・小売業、建設業が多い。

2012年 付加価値額(企業単位) 大分類
長野県飯山市

付加価値額(企業単位)：21,984百万円



企業単位：

事業・活動を行う法人（外国の会社を除く。）及び個人経営の事業所。
※本社の所在地にまとめて計上

事業所単位：

経済活動が行われている場所ごとの単位で、原則として次の要件を備えているもの。

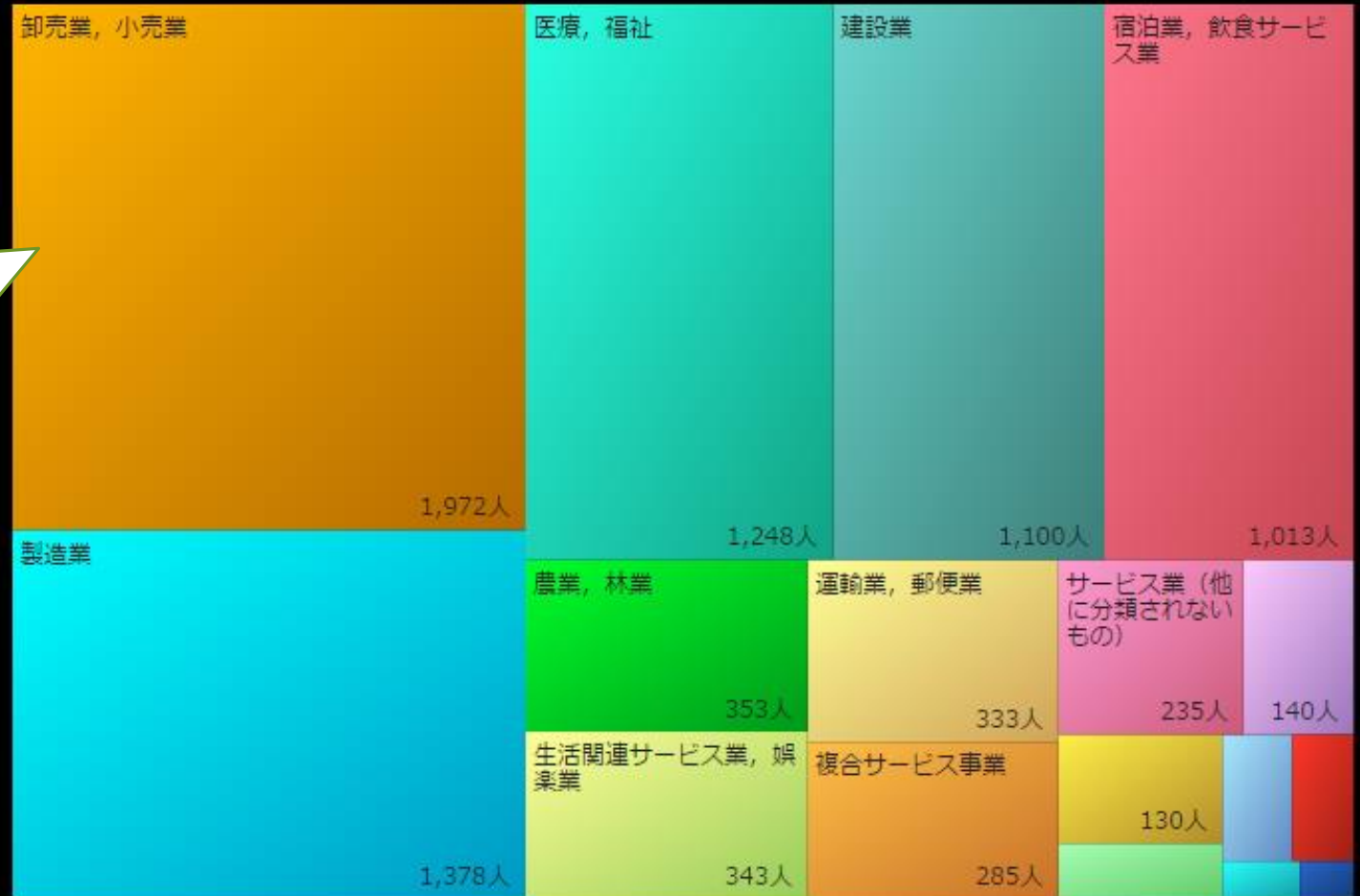
- 1)一定の場所を占めて、単一も経営主体のもとで経済活動が行われていること
- 2)従業者と設備を有して、物の生産や販売、サービスの提供が継続的に行われていること

飯山市 産業構造（従業者数－事業所単位）

2014年 従業者数(事業所単位) 大分類

長野県飯山市

従業者数(事業所単位) : 8,756人



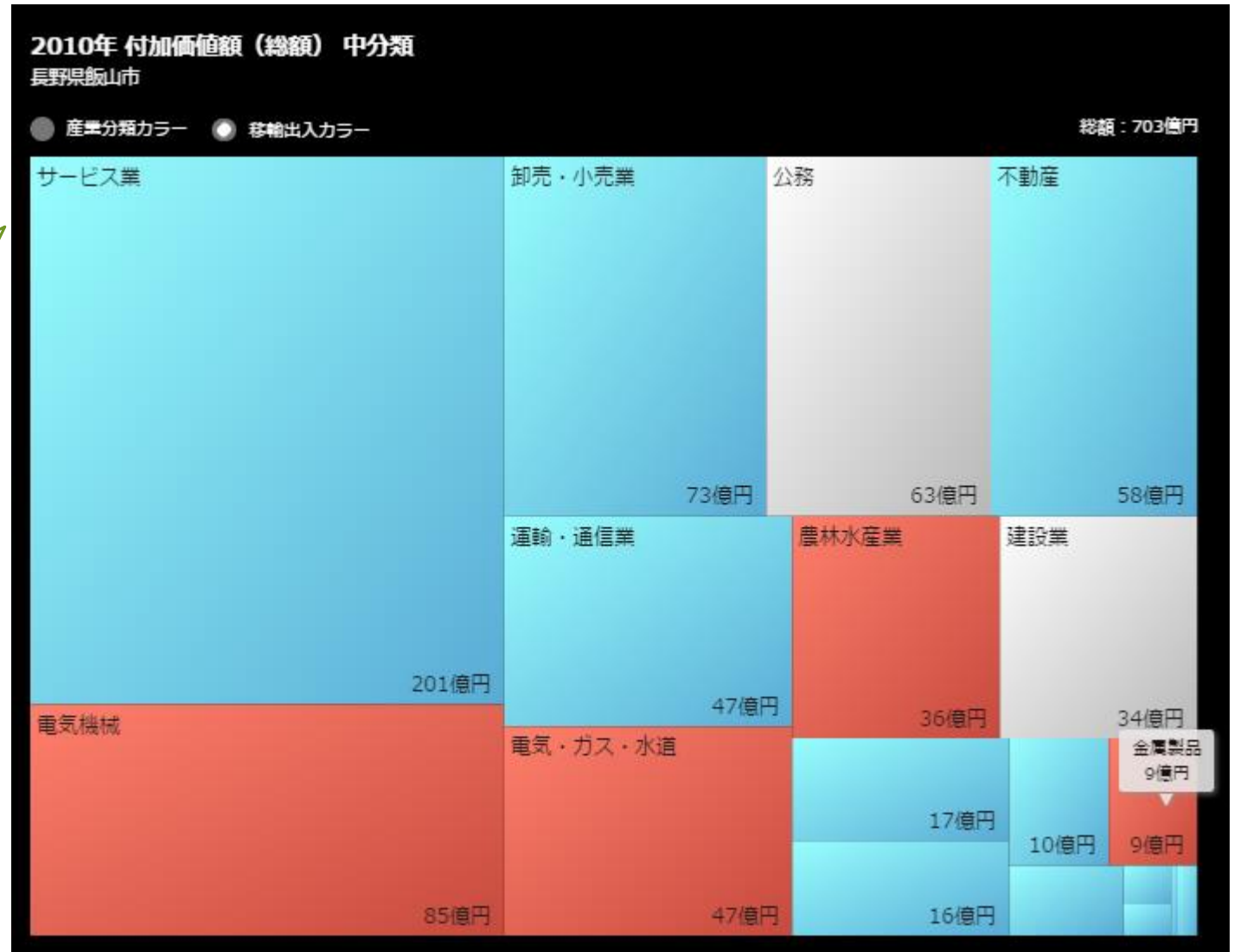
従業者数総数は8,756人。
内訳をみると、卸売業・小売業が最も多く、次いで、製造業、医療・福祉が多い。

飯山市 (生産分析—付加価値額)

域外からお金を稼いでいるのは、電気機械、電気・ガス・水道、農林水産業、金属製品。

赤色＝移輸出額の方が多
い(移輸入額<移輸出額)
⇒地域外からお金を稼いで
いる産業

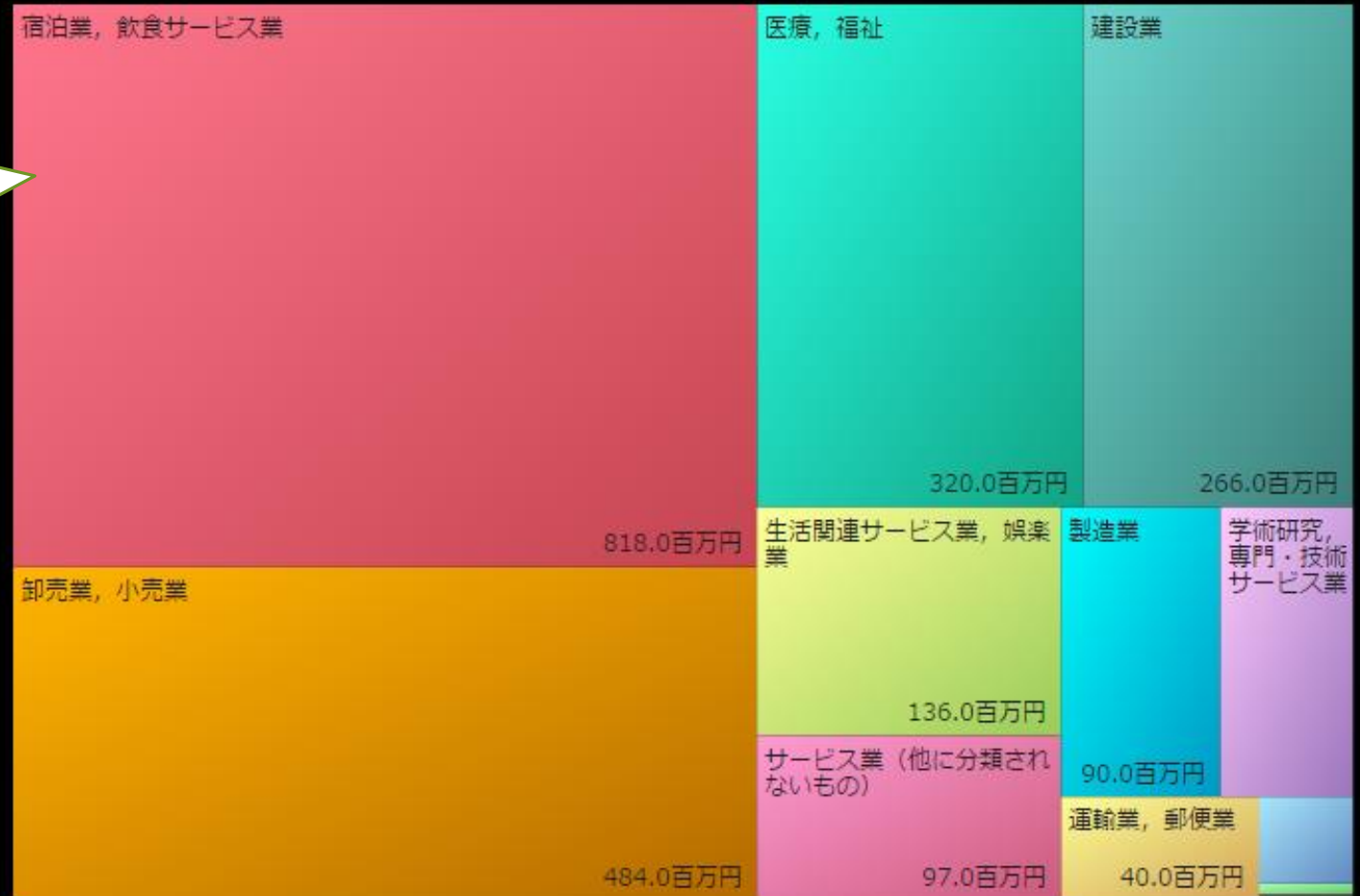
青色＝移輸入額の方が多
い(移輸入額>移輸出額)
⇒地域外から必要として
いるものを調達している産業



野沢温泉村 産業構造（付加価値額－企業単位）

2012年 付加価値額(企業単位) 大分類
長野県野沢温泉村

付加価値額(企業単位)：2,404百万円



上図以外の付加価値額(企業単位)の合算：60百万円

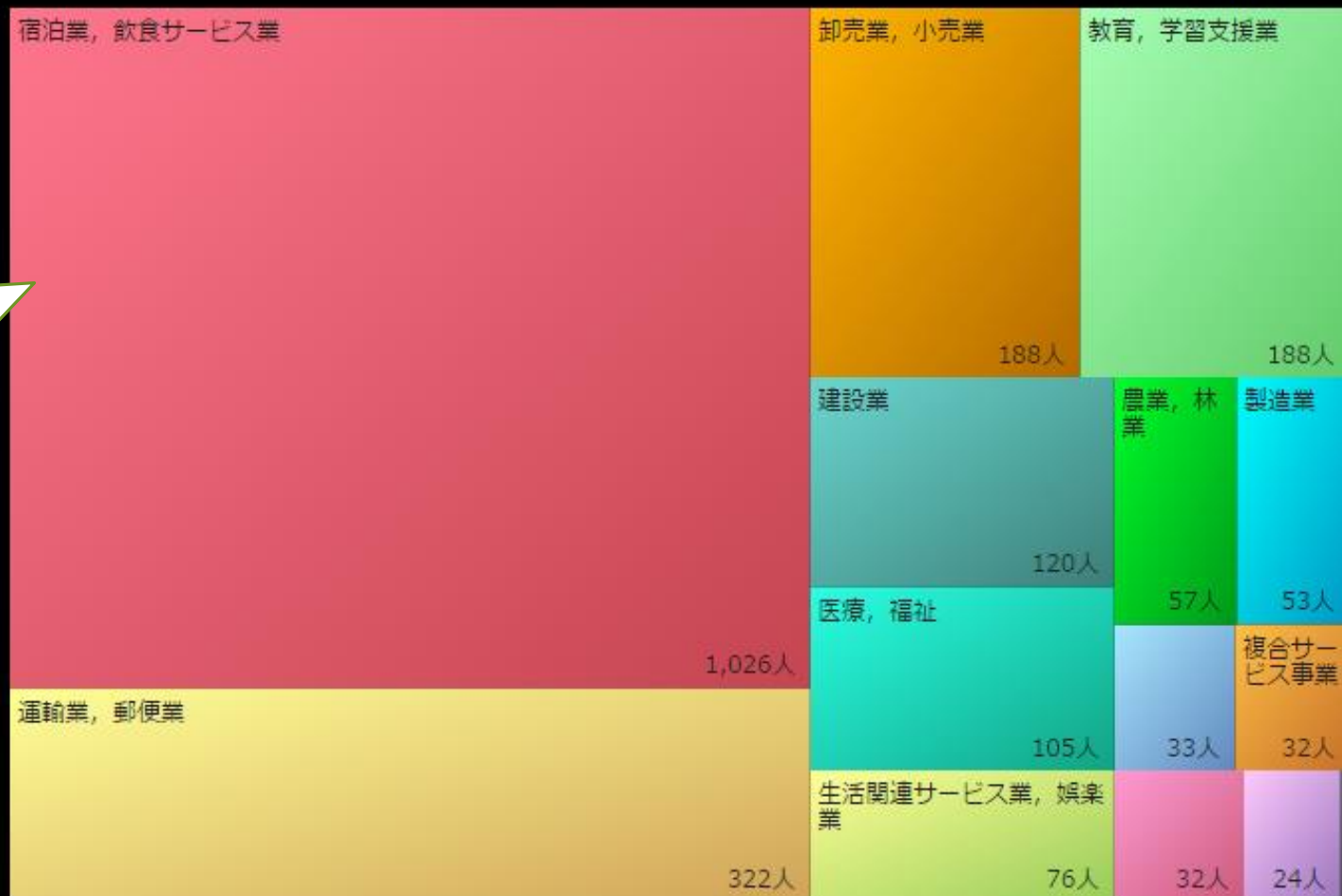
付加価値額の総額は24億円。
内訳で見ると、宿泊業、飲食サービス業が最も多く、約8億円。
次いで卸売業・小売業、医療・福祉が多い。

野沢温泉村 産業構造（従業者数－事業所単位）

2014年 従業者数(事業所単位) 大分類

長野県野沢温泉村

従業者数(事業所単位)：2,256人



従業者数総数は2,256人。
内訳をみると、宿泊業、飲食サービス業が最も多く、1,026人。次いで運輸業・郵便業である。

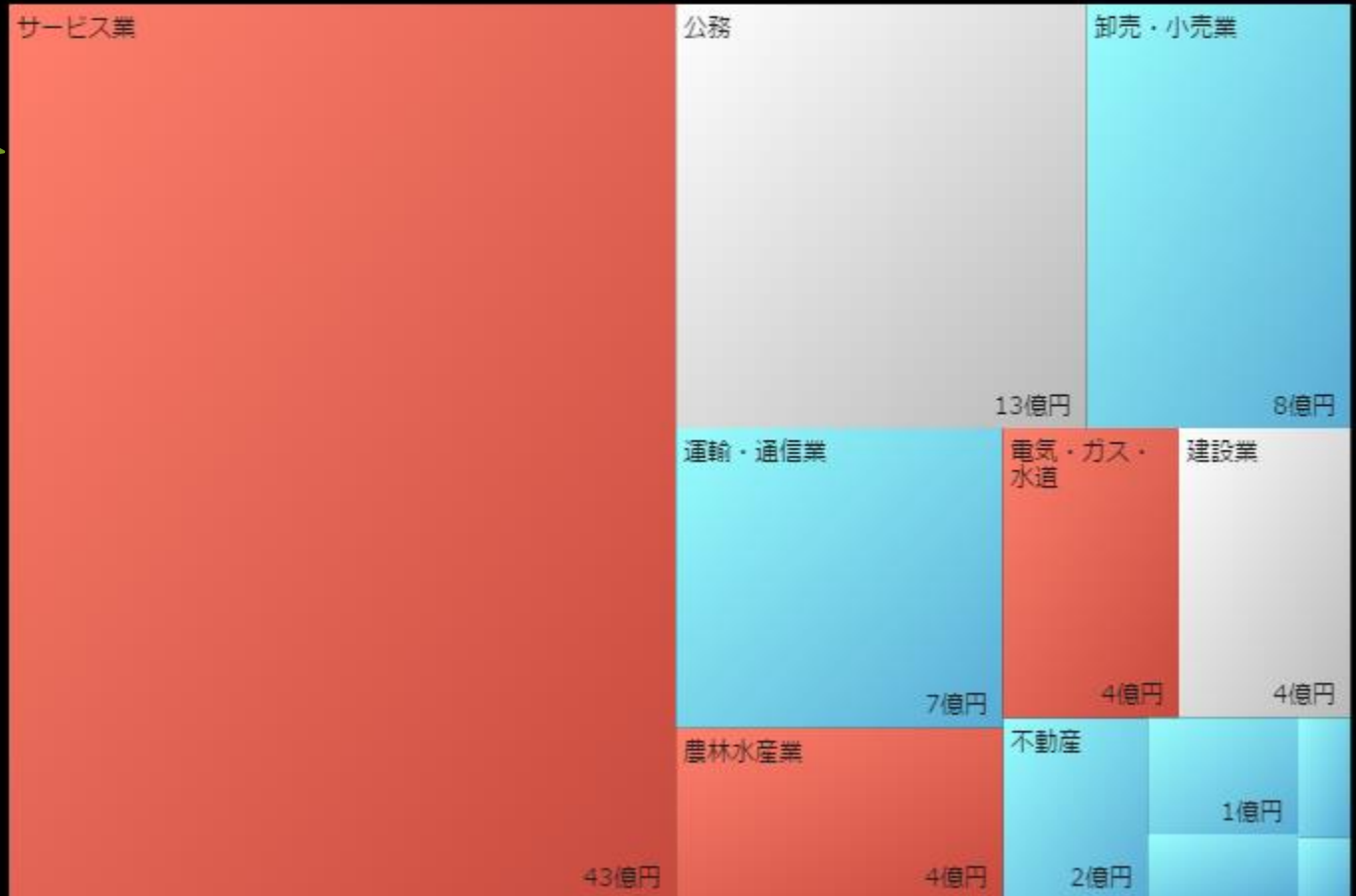
野沢温泉村 (生産分析—付加価値額)

2010年 付加価値額 (総額) 中分類

長野県野沢温泉村

● 産業分類カラー ● 移輸出入カラー

総額：87億円



域外からお金を稼いでいるのは、サービス業、農林水産業、電気・ガス・水道

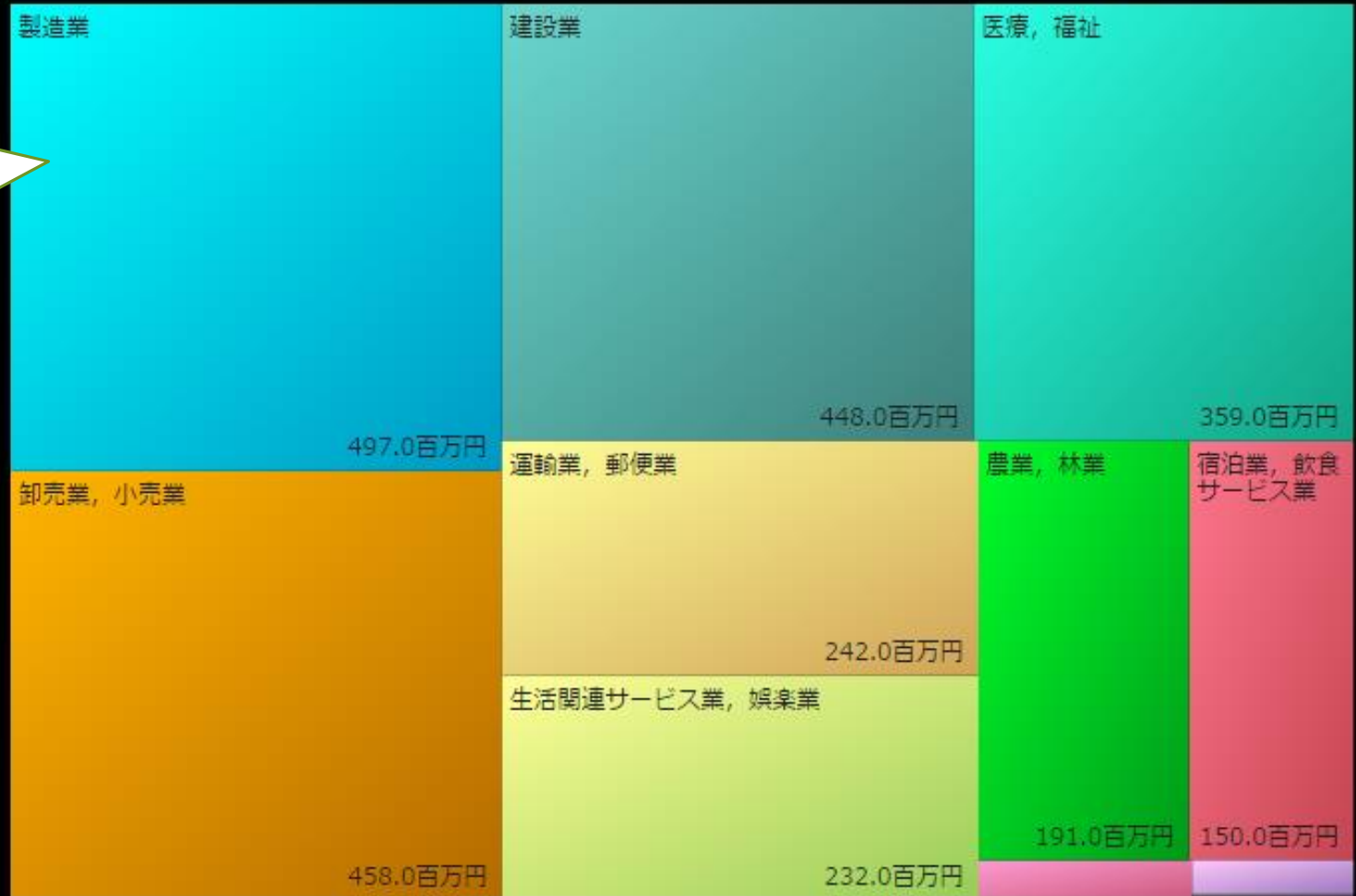
赤色 = 移輸出額の方が多い (移輸入額 < 移輸出額)
⇒ 地域外からお金を稼いでいる産業

青色 = 移輸入額の方が多い (移輸入額 > 移輸出額)
⇒ 地域外から必要としているものを調達している産業

木島平村 産業構造（付加価値額－企業単位）

2012年 付加価値額(企業単位) 大分類
長野県木島平村

付加価値額(企業単位) : 2,629百万円

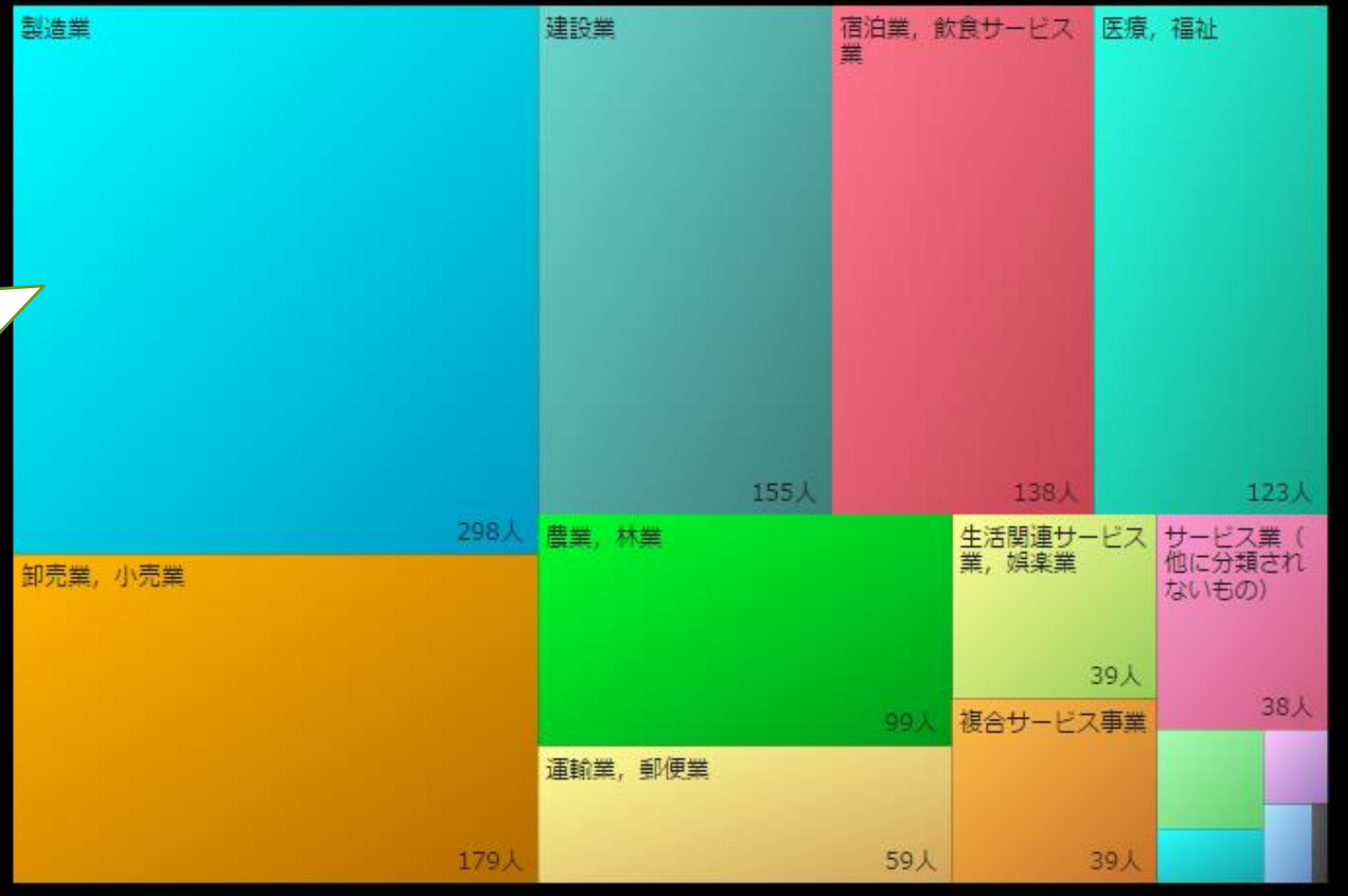


付加価値額の総額は26億円。
内訳で見ると、製造業が最も多く約5億円。
次いで卸売業・小売業、建設業が多い。

木島平村 産業構造（従業者数－事業所単位）

2014年 従業者数(事業所単位) 大分類
長野県木島平村

従業者数(事業所単位) : 1,193人



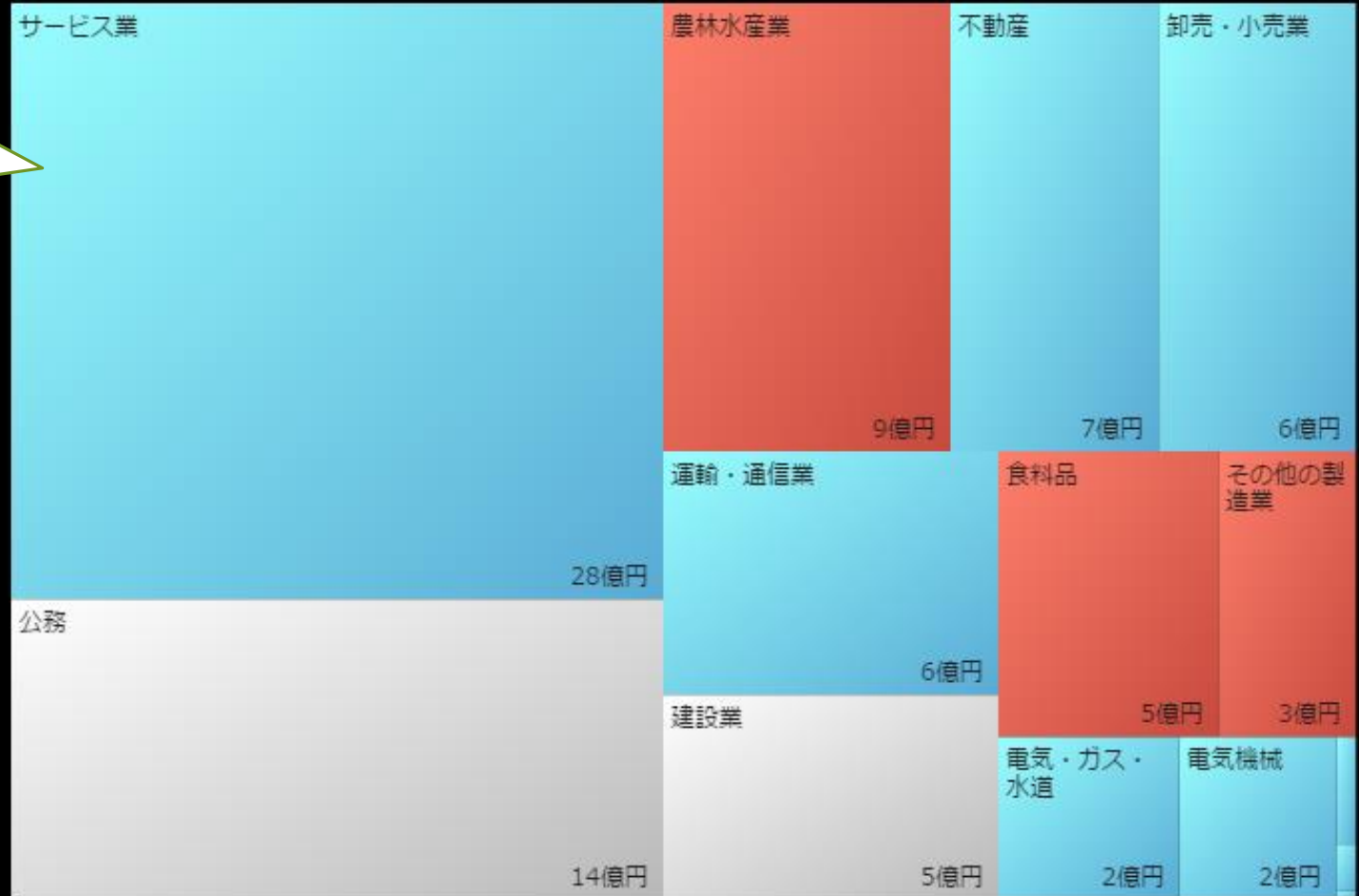
従業者数総数は1,193人。
内訳をみると、製造業が最も多く298人。次いで卸売業・小売業が179人。

木島平村 (生産分析—付加価値額)

2010年 付加価値額 (総額) 中分類
長野県木島平村

● 産業分類カラー ● 移輸出入カラー

総額：87億円



域外からお金を稼いでいるのは、農林水産業、食料品、その他の製造業

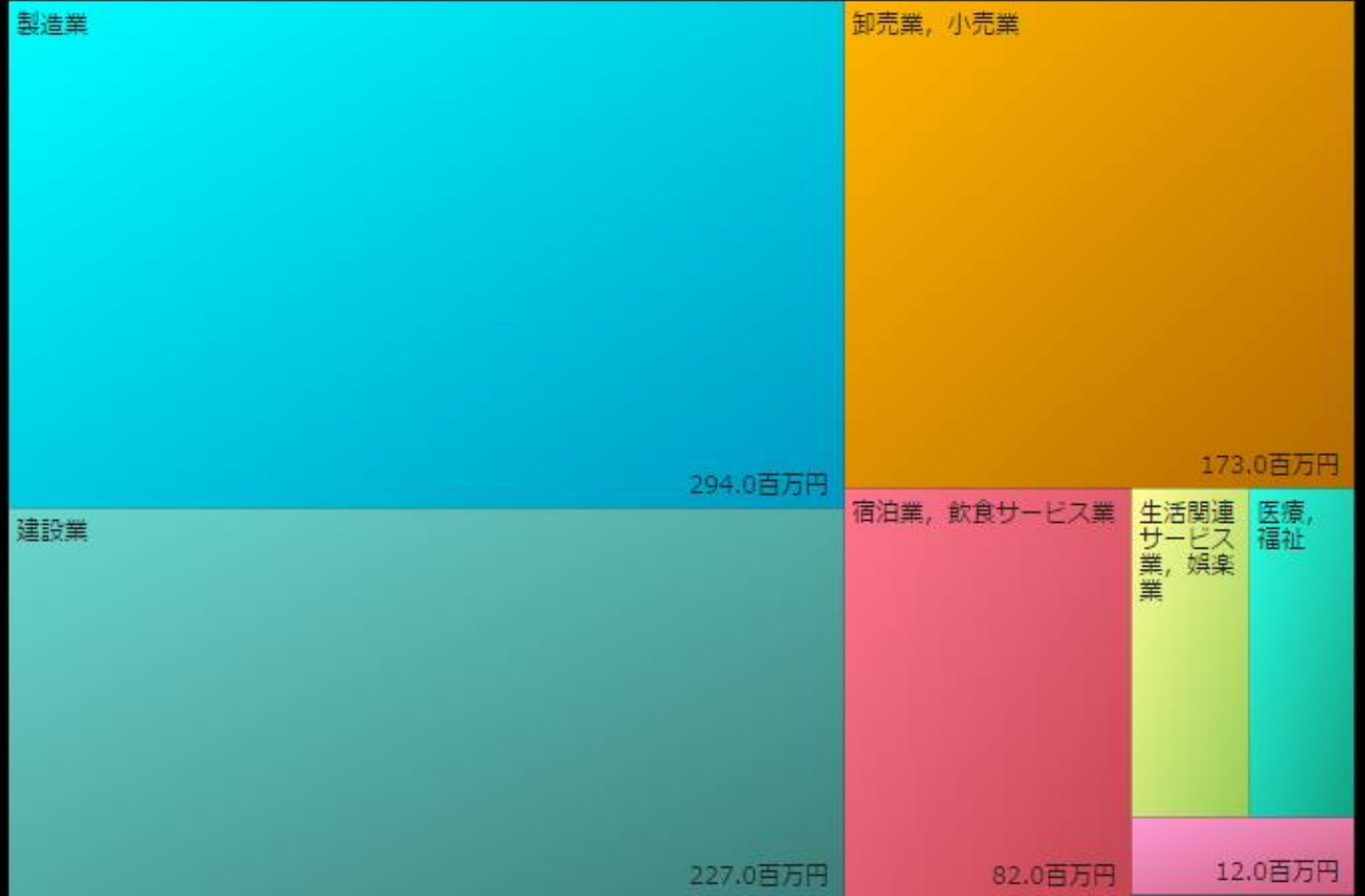
赤色＝移輸出額の方が多い(移輸入額<移輸出額)
⇒地域外からお金を稼いでいる産業

青色＝移輸入額の方が多い(移輸入額>移輸出額)
⇒地域外から必要としているものを調達している産業

栄村 産業構造（付加価値額－企業単位）

2012年 付加価値額(企業単位) 大分類
長野県栄村

付加価値額(企業単位) : 1,003百万円



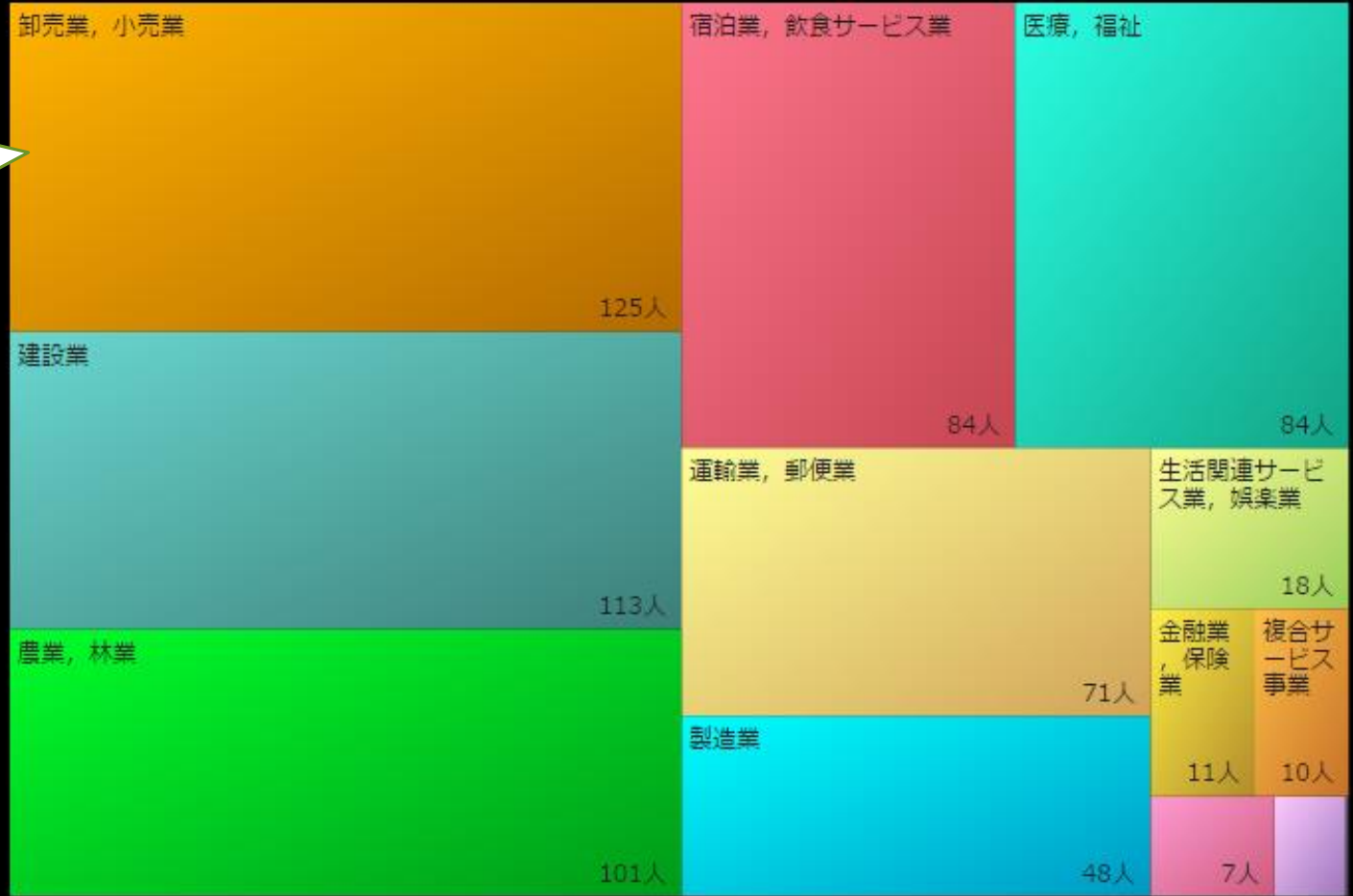
付加価値額の総額は10億円。
内訳で見ると、製造業が最も多く約3億円。次いで建設業、卸売業・小売業が多い。

栄村 産業構造（従業者数－事業所単位）

2014年 従業者数(事業所単位) 大分類

長野県栄村

従業者数(事業所単位) : 676人



従業者数総数では676人。
内訳でみると、卸売業、小売業125人、建設業113人となっている。

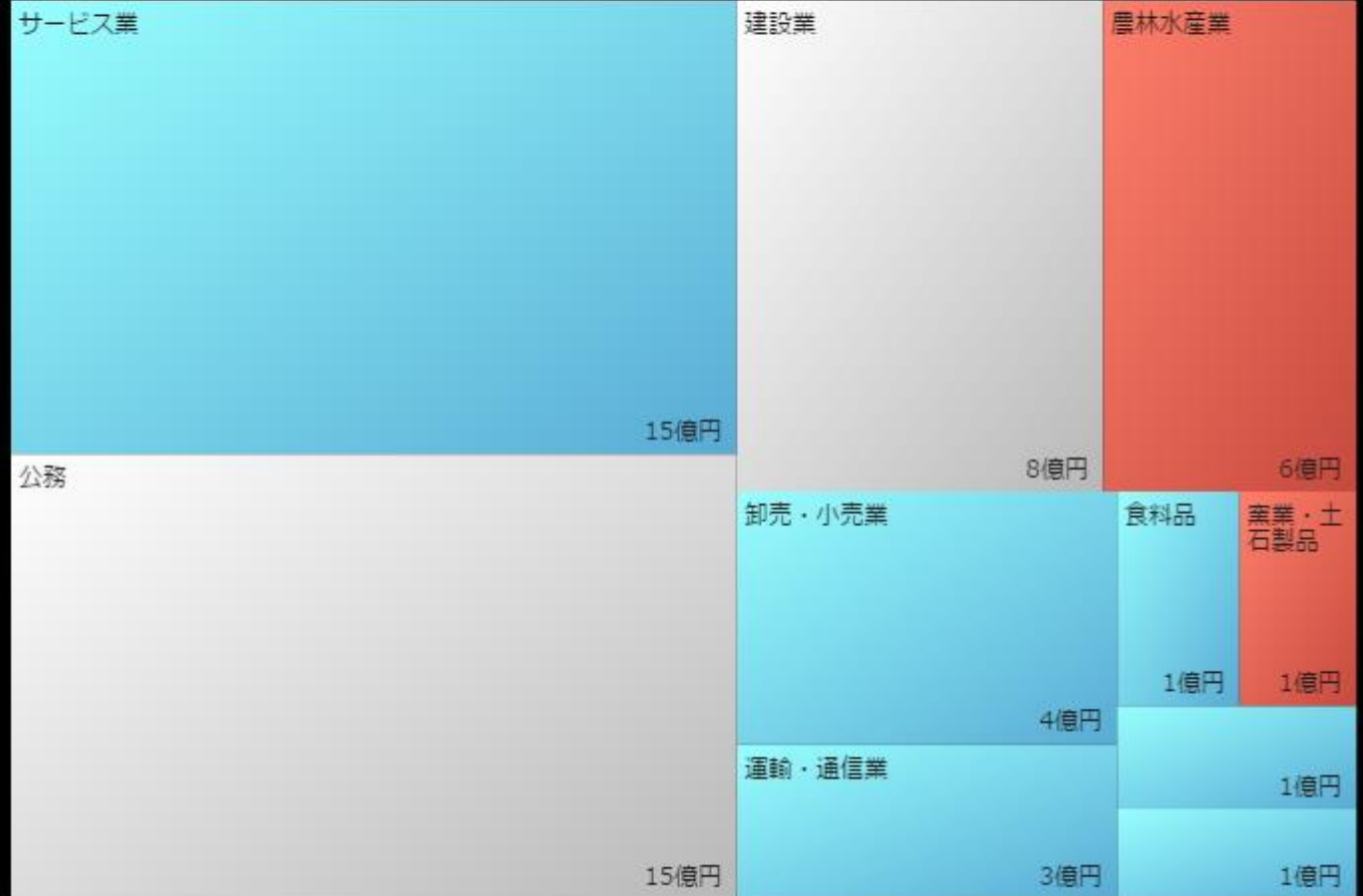
栄村（生産分析－付加価値額）

2010年 付加価値額（総額） 中分類

長野県栄村

● 産業分類カラー ● 移輸出入カラー

総額：55億円



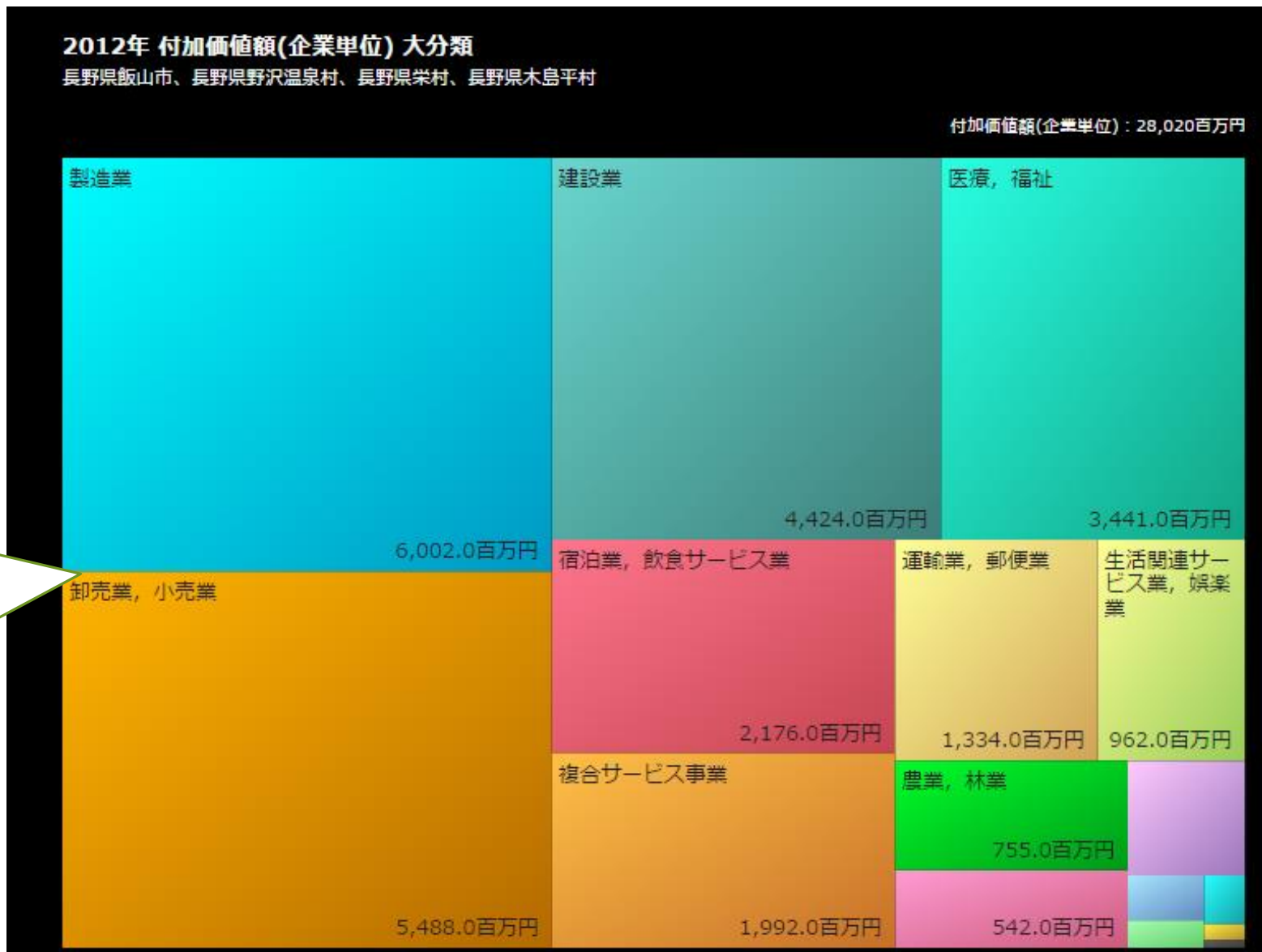
域外からお金を稼いでいるのは、農林水産業、窯業・土石製品

赤色＝移輸出額の方が多い(移輸入額<移輸出額)
⇒地域外からお金を稼いでいる産業

青色＝移輸入額の方が多い(移輸入額>移輸出額)
⇒地域外から必要としているものを調達している産業

4市村を合わせた産業構造（付加価値額－企業単位）

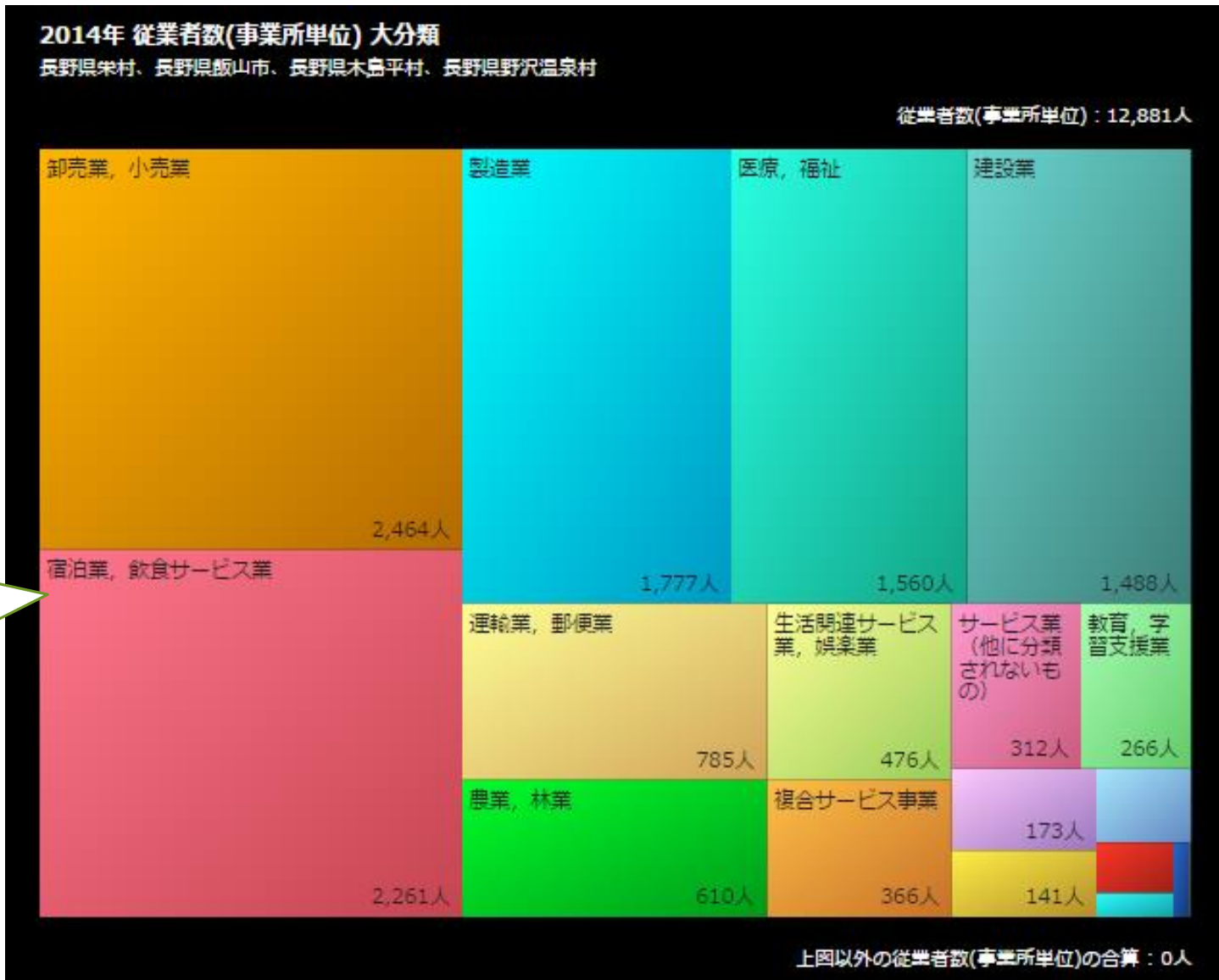
飯山市
野沢温泉村
木島平村
栄村
付加価値額
（企業単位）



4市村の付加価値額は280億円。
内訳で見ると、製造業が60億円、卸売業、小売業が55億円となっている。

4市村を合わせた産業構造（従業者数－事業所単位）

飯山市 野沢温泉村 木島平村 栄村 従業者数 （事業所単位）



4市村の総従業者数は12,881人。
内訳で見ると、卸売業・小売業が2,464人、宿泊業、飲食サービス業が2,261人となっている。